



消防年報

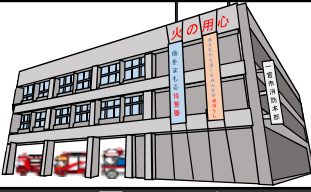
第 67 号 2017

Ichinomiya City Fire Department Annual Report



一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ² 人口 386,105人 世帯数 156,693世帯 平成29年4月1日現在	一般会計予算 110,040,000千円 消防予算 3,716,700千円 平成29年度予算	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 8 平成29年4月1日現在	条例定数 395人 現員数 389人 平成29年4月1日現在

		
消防団員	消 防 車 両	1 1 9 番受信
条例定数 605人 現員数 516人 平成29年4月1日現在	タンク車 19台 ポンプ車 1台 救急車 14台 はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 1台 その他 29台 合 計 68台 平成29年4月1日現在	火 災 172件 救 急 15,665件 その他 6,706件 合 計 22,543件 平成28年中

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 46件 車 両 8件 その他 45件 合 計 99件 平成28年中	1位 放火 31件 2位 たばこ 12件 3位 たき火 7件 平成28年中	出動件数 210件 活動件数 111件 救助人員 113人 平成28年中	出動件数 16,882件 搬送人員 15,923人 平成28年中

			
音 楽 隊	査察対象物	危険物施設	消防クラブ会員
隊員数 38人 演奏回数 34回 平成28年度中	特定対象物 1,874か所 非特定対象物 2,574か所 平成29年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 275か所 取扱所 159か所 平成29年4月1日現在	幼年 10,315人 少年 7,209人 婦人 385人 平成29年4月1日現在

一宮市民憲章

平成 19 年 3 月 28 日制定

わたしたちのまち一宮市は、木曽の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、

だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。

1. **ち**きゅうを愛し、

自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。

1. **の**びやかに青少年が育ち、

個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。

1. **み**どり豊かなふるさとを守り、

活力ある産業のまちをつくります。

1. **や**さしさと思いやりに満ち、

夢と希望があふれるまちをつくります。

は　じ　め　に

本市消防は、関係機関の皆様の暖かいご支援とご協力により着実に発展を遂げ、地域に密着した防災機関として、市民の皆様からも多大なる信頼と期待を受け、時代とともに変貌する各種災害に対し、的確に対応できる消防体制の充実強化に努めてまいりました。

しかしながら、平成 28 年熊本地震をはじめ、突発的に起きる自然災害、都市化に伴い複雑化していく災害、また、放射性物質の流出など多様な事案が発生している中、単一の自治体での対応の枠を超え、複数の自治体同士の相互応援による対応が求められてきています。

また、人為的に発生する事故、国際的なテロリズムによる災害の発生が危惧される中、市民の生命・財産を守る消防の役割はますます重要となり、消防体制のさらなる充実強化が必要となっております。

このような環境下において、本市消防といたしましても消防体制のさらなる充実強化を目指し、新市の基本理念である「安心・元気・協働」のもとに、心ふれあう、安全、安心なまちづくりに努力する所存であります。

本書は、平成 29 年 4 月 1 日現在における消防体制及び平成 28 年中の火災等の実態を取りまとめて収録したものであります。

ご高覧を賜り、本市消防行政の一層の飛躍に向け、皆様のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いに存じます。

平成 29 年 7 月

一 宮 市 消 防 本 部

○平成29年度 全国統一防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に



○平成28・29年度 一宮市防火標語

「火の用心」 地域で作ろう 防火の輪



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I 総 括

市 の 概 要	1
一 宮 市 の 人 口 ・ 世 帯 数	2
消 防 機 関 の 配 置	3
消 防 の あ ゆ み	4
消 防 の 主 な 行 事	6
消 防 情 勢 の 推 移	8
消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 組 織	10
消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 事 務 分 掌	11
消 防 団 の 組 織	12
消 防 本 部 ・ 消 防 署 の 庁 舎 現 況	13
消 防 団 の 庁 舎 現 況	14
消 防 本 部 ・ 消 防 署 車 両 の 現 勢	16
消 防 団 車 両 の 現 勢	19
消 防 音 楽 隊 の あ ゆ み	20
消 防 音 楽 隊 の 編 成	23
消 防 音 楽 隊 の 活 動 状 況	23

II 総 務

当 初 予 算 の 推 移	24
決 算 額 と 構 成 の 推 移	24
消 防 職 員 の 配 置	25
消 防 職 員 の 年 齢	27
消 防 職 員 の 勤 続 年 数	27
消 防 職 員 資 格 等 保 有 状 況	28
消 防 職 員 教 育 研 修 状 況	29
災 害 防 止	30
安 全 管 理	30
消 防 協 力 者 表 彰	30
施 設 ・ 装 備 充 実 事 業	31

III 通 信 ・ 気 象

指 令 シ ス テ ム 構 成 図	33
無 線 設 備	34
指 令 回 線 等 一 覧 表	35
月 別 119 番 受 信 状 況	36

携 帯 電 話 か ら の 月 別 119 番 受 信 状 況	37
月 別 気 象 状 況	38
一 宮 市 の 警 報 ・ 注 意 報 発 表 基 準	38

IV 消 防 団

消 防 団 の 現 況	39
消 防 団 及 び 消 防 団 員 の 状 況	39
消 防 団 の 活 動 状 況	39
年 報 酬 額	40
費 用 弁 償	40
消 防 団 員 の 退 職 状 況	40
消 防 団 員 の 新 任 状 況	40
消 防 団 員 の 職 業 構 成 と 就 業 形 態	40
消 防 団 員 の 年 齢	41
消 防 団 員 の 勤 続 年 数	42

V 予 防

火 災 予 防 普 及 活 動 状 況	43
幼 年 ・ 少 年 ・ 婦 人 消 防 ク ラ ブ の 現 況	43
街 頭 消 火 器 設 置 状 況	44
街 頭 消 火 器 火 災 使 用 状 況	45
査 察 対 象 物 数	46
中 高 層 建 築 物 数	47
各 種 届 出 件 数	48
用 途 別 同 意 建 築 物 数	49
危 険 物 施 設 数	50
指 定 数 量 の 倍 数 ・ 類 別 危 険 物 施 設 数	51
危 険 物 施 設 の 設 置 ・ 変 更 許 可 等	52
タ ン ク 検 査 状 況	52
危 険 物 施 設 届 出 等 状 況	52

VI 火 災

火 災 の 概 況	53
出 火 原 因	54
建 物 用 途 別 ・ 原 因 別 件 数	55
連 区 ・ 月 別 の 火 災 件 数	56
過 去 10 年 間 の 火 災 発 生 件 数	58
高 速 道 路 の 火 災	59

VII 警 防

消 防 車 両 の 配 置 状 況	6 0
災 害 種 別 の 出 動 状 況	6 1
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	6 2
消 防 活 動 用 資 機 材 の 配 置	6 3
消 防 水 利 の 現 況	6 5
応 援 協 力 計 画	6 6
緊 急 消 防 援 助 隊 の 概 要	6 7
緊 急 消 防 援 助 隊 の 派 遣 に つ い て	6 7

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 1 0 年 間 の 救 急 活 動 状 況	6 9
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	7 0
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	7 1
地 区 別 救 急 出 動 件 数	7 2
地 区 別 救 急 搬 送 人 員	7 2
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	7 3
収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	7 3
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	7 4
救 急 高 度 化 の 推 移	7 5
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	7 6
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	7 8
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	7 9
救 助 活 動 状 況	8 0
月 別 救 助 出 動 状 況	8 1
過 去 5 年 間 の 救 助 活 動 状 況	8 1
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	8 2



総括

市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正 10 年 9 月 1 日に市制を施行、昭和 15 年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和 30 年 1 月に丹陽村と浅井町、4 月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成 17 年 4 月に尾西市、木曽川町と合併し現在の 113.82 km^2 の都市が実現しました。

平成 29 年 4 月 1 日現在、人口 386,105 人、世帯数 156,693 世帯となり、市北部から西部へと約 18 キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位置：北緯 35 度 18 分、東経 136 度 48 分

■面積：113.82 km^2

東西 15.3 km、南北 13.3 km

■人口：386,105 人

男 189,073 人 女 197,032 人

■世帯数：156,693 世帯

■人口密度：3,392 人/ km^2

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

■Location: Lat. 35° 18' N&Long. 136° 48' E

■Area: 113.82 km^2

East-West: 15.3 km、North-South: 13.3 km

■Population: 386,105 people;

Male: 189,073 people, Female: 197,032 people

■Number of households: 156,693 households

■Population density: 3,392 people/ km^2

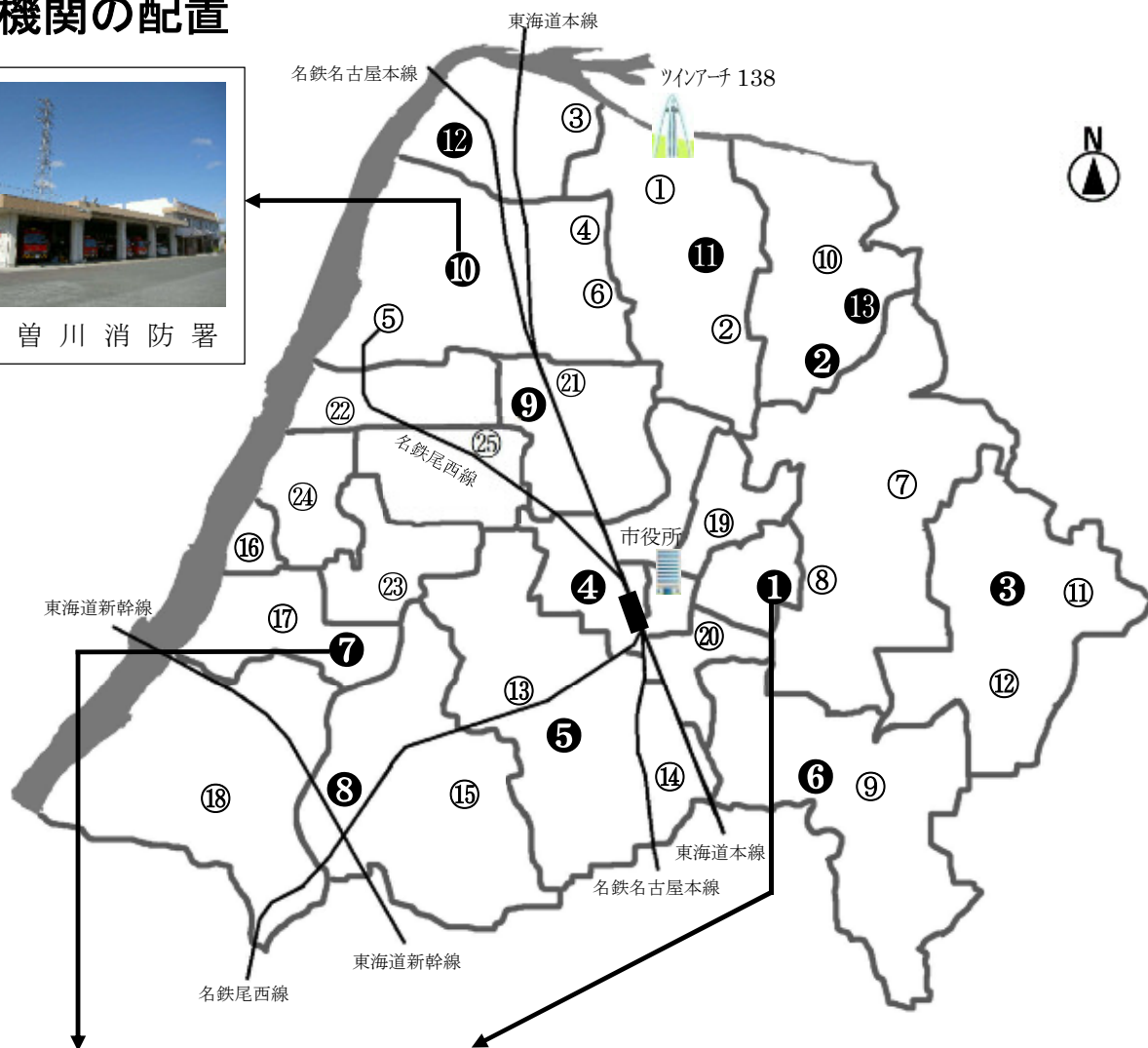
(As of April. 1. 2017)

一宮市の人口・世帯数

平成29年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	156,693	386,105	189,073	197,032
宮 西	4,831	11,339	5,482	5,857
貴 船	5,155	12,031	5,801	6,230
神 山	7,002	15,646	7,614	8,032
大 志	2,243	5,013	2,369	2,644
向 山	3,937	9,147	4,482	4,665
富 士	4,203	9,608	4,664	4,944
葉 栗	6,492	17,034	8,364	8,670
西 成	13,923	35,017	17,218	17,799
丹 陽 町	11,898	28,465	14,445	14,020
浅 井 町	8,075	20,274	9,858	10,416
北 方 町	3,798	9,900	4,837	5,063
大 和 町	17,735	42,518	20,874	21,644
今 伊 勢 町	11,051	26,587	13,010	13,577
奥 町	5,501	14,234	6,865	7,369
萩 原 町	7,456	18,779	9,092	9,687
千 秋 町	6,608	17,505	8,573	8,932
起	1,370	3,338	1,618	1,720
小 信 中 島	4,179	10,950	5,339	5,611
三 条	5,320	13,090	6,344	6,746
大 徳	4,055	10,337	5,052	5,285
朝 日	4,956	12,752	6,232	6,520
開 明	3,336	8,364	4,103	4,261
木 曽 川 町	13,569	34,177	16,837	17,340

消防機関の配置



※詳しくはこちらをご覧ください

一宮市公式ウェブサイト内
地図情報サイト「138 マップ」

<http://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya>



【施設・地域情報】



【消防施設】

消 防 本 部 ・ 消 防 署 ・ 出 張 所			
①	消 防 本 部	⑦	尾 西 消 防 署
	一 宮 消 防 署 本 署	⑧	萩 原 消 防 出 張 所
②	浅井・西成消防出張所	⑨	今伊勢・奥消防出張所
③	千 秋 消 防 出 張 所	⑩	木 曾 川 消 防 署
	消 防 署 整 備 工 場	⑪	葉 栗 消 防 出 張 所
④	八 幡 消 防 分 署	⑫	北 方 消 防 出 張 所
⑤	大 和 消 防 出 張 所	⑬	浅 井 消 防 倉 庫
⑥	丹 陽 消 防 出 張 所		
	消 防 訓 練 施 設		

分 団 庁 舎							
北 部 方面隊		東 部 方面隊		南 部 方面隊		西 部 方面隊	
①	葉 栗 北	⑦	西 成 北	⑬	大 和 西	⑰	真 清 北
②	葉 栗 南	⑧	西 成 南	⑭	大 和 東	⑱	真 清 南
③	北 方	⑨	丹 陽	⑮	萩 原	⑳	今 伊 勢
④	木曾川北	⑩	浅 井	⑯	起	㉑	奥
⑤	木曾川西	⑪	千 秋 北	⑰	大 徳	㉒	三 条
⑥	木曾川東	⑫	千 秋 南	⑱	朝 日	㉓	小 信 中 島
						㉔	開 明

消防のあゆみ

(一):旧一宮市消防本部

(尾):旧尾西市消防本部

(木):旧木曽川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曽川署)
昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町苅安賀地内に開所
昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所
昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結

平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリを導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録
平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を開所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稲沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称
平成29年 3月	一宮消防署本署に支援車を導入
平成29年 4月	浅井消防出張所と西成消防出張所の統合に伴い、浅井・西成消防出張所を開所し、救急隊を配置 一宮消防署本署に特別消防隊を配置

消防の主な行事

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年			
月	日	行 事 名	実 施 場 所
4月	3日	一宮市消防団員任命式	消防本部
5月	3・4・5日	リバーサイドフェスティバル	138タワーパーク
	11・12日	第1回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	12日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	23日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	木曽川左岸(江南市大字草井地内)
	25日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練	木曽川右岸(羽島市正木町大浦地内)
	29日	木曽三川連合総合水防演習	稲沢市
6月	7・8・9・10日	解体予定建物を使用した救助訓練	尾西グリーンプラザ
	8日	危険物講習会	尾西消防署
	12日	第16回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサート	一宮市民会館
	12日	浅井町連区防災訓練	浅井中小学校
	14・15日	第2回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	16・17日	第3回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	19日	第12回一宮市消防団操法大会	葉栗中学校
7月	28日	消防職員委員会	消防本部
	30日	第61回愛知県消防操法大会	尾張旭市
8月	3日	少年消防クラブ員県消防学校一日入校 (宮西・貴船・起・三条小)	愛知県消防学校
	25日	救命索発射銃取扱い訓練(警察と合同実施日)	木曽川河川敷(北方町北方地内)
	30日	一般教養「消防職員の現場活動にかかるストレス対策」	消防本部
9月	3日	救急フェア	イオンモール木曽川 ノースコート
	11日	神山連区防災訓練	神山小学校
	27日	三市消防本部(稲沢市・羽島市・一宮市) 合同水難救助訓練	木曽川左岸(稲沢市祖父江町拾町野地先)
10月	8日	一宮市防火標語表彰式	消防本部
	16日	木曽川町連区防災訓練	黒田小学校
	23日	貴船連区防災訓練	貴船小学校
	23日	奥町連区防災訓練	奥小学校
	24日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	26日	平成28年度緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練	瀬戸市民公園
	28日 ～12月9日	児童防火作品入賞作品展示	中央図書館・尾西図書館・木曽川庁舎
	30日	千秋町連区防災訓練	千秋小学校
	30日	富士連区防災訓練	富士小学校
11月	3日	大徳連区防災訓練	尾西消防署
	4日	女性消防クラブ指導者科入校(奥町連区婦人消防クラブ)	愛知県消防学校
	6日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	10日	秋季火災予防運動消防訓練	西御堂の里 三笠
	10・11日	豊田市救助隊との救助合同訓練	豊田市消防本部 中消防署

月	日	行 事 名	実 施 場 所
11月	13日	第38回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	13日	萩原町連区防災訓練	萩原小学校
	13日	北方町連区防災訓練	北方小学校
	16日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稲沢線
	16・17日	平成28年度第1回警防技術発表会	尾西消防署
	20日	葉栗連区防災訓練	葉栗中学校
	20日	向山連区防災訓練	向山小学校
	20日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	24・25日	第4回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	27日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社 名古屋工場
	27日	三条連区防災訓練	三条小学校
	27日	宮西連区防災訓練	宮西小学校
	30日・12月1日	第5回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
12月	12日	年末特別査察	テラスウォーク一宮
	13日	年末特別査察	ピアゴ妙興寺店
	14日	年末特別査察	ピアゴ尾西店
	15日	年末特別査察	エディオン一宮本店 アピタ木曽川店 ピアゴ大和店 一宮ニッケコーナンプラザ
	18日	年末特別査察	名鉄百貨店一宮店 バロー一宮西店 イオンモール木曽川
	20・21日	救急隊員講習会	消防本部
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
平成29年			
1月	7日	一宮市消防出初式 県少年消防クラブ表彰（浅野小学校）	九品地公園競技場
	26日	文化財防火訓練	真清田神社
	31日・2月1日	一般教養「夢の桜満開に」	消防本部
2月	9日	甲種防火管理再講習会	消防本部
	13・14日	平成28年度第2回警防技術発表会	尾西消防署
	15・16日	平成28年度第2回警防技術発表会	一宮競輪場
	15・16日	昇降機を使用した救助訓練	消防本部・北部中学校
	20日	車両構造講習会（新幹線）	東海旅客鉄道株式会社 名古屋車両所
	21日	震災対応救助技術訓練	名古屋市消防学校 防災用訓練場
3月	2・3日	一般教養「狭隘空間における救助（CSR）」	消防本部
	3日	一宮市婦人消防クラブ防火パトロール	一宮駅周辺、貴船連区、大志連区等
	5日	消防団員研修会	消防本部
	5日	起連区防災訓練	起小学校
	7・8日	電柱事故救助訓練	中部電力株式会社 殿町訓練場
	8日	大規模倉庫等の特別査察	佐川急便株式会社 中京支店 一宮営業所
	30日	一宮市浅井・西成消防出張所新庁舎竣工式	浅井・西成消防出張所

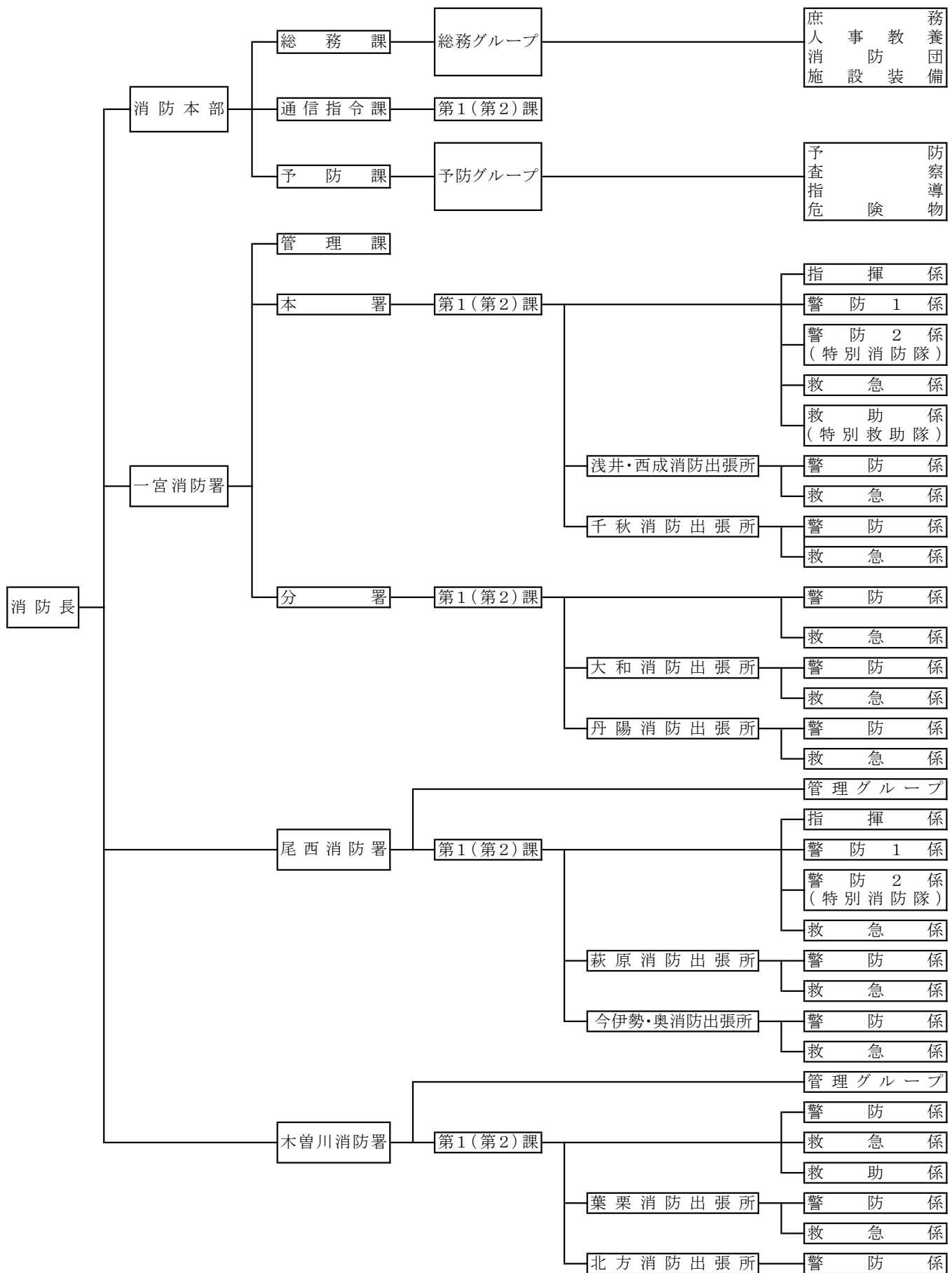
消防情勢の推移

	年 別	市 勢		(消 防 千 円 年 度 予 算)	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消 防 吏 員	そ の 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曾川町	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375
	平成29年	386,105	156,693	3,716,700	389		4,017	603	375

(備考) 旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値、平成13年以降は4月1日現在の数値

火 災				救 急		救 助		消 防 団	
火災 件数	損害額 (千円)	死 者	負 傷 者	出 動 件 数	搬 送 人 員	出 動 件 数	救 助 人 員	消 防 団 数	団 員 数 (実員)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
99	55,087	3	16	16,882	15,923	210	113	1	516
—	—	—	—	—	—	—	—	1	516

消防本部・消防署の組織

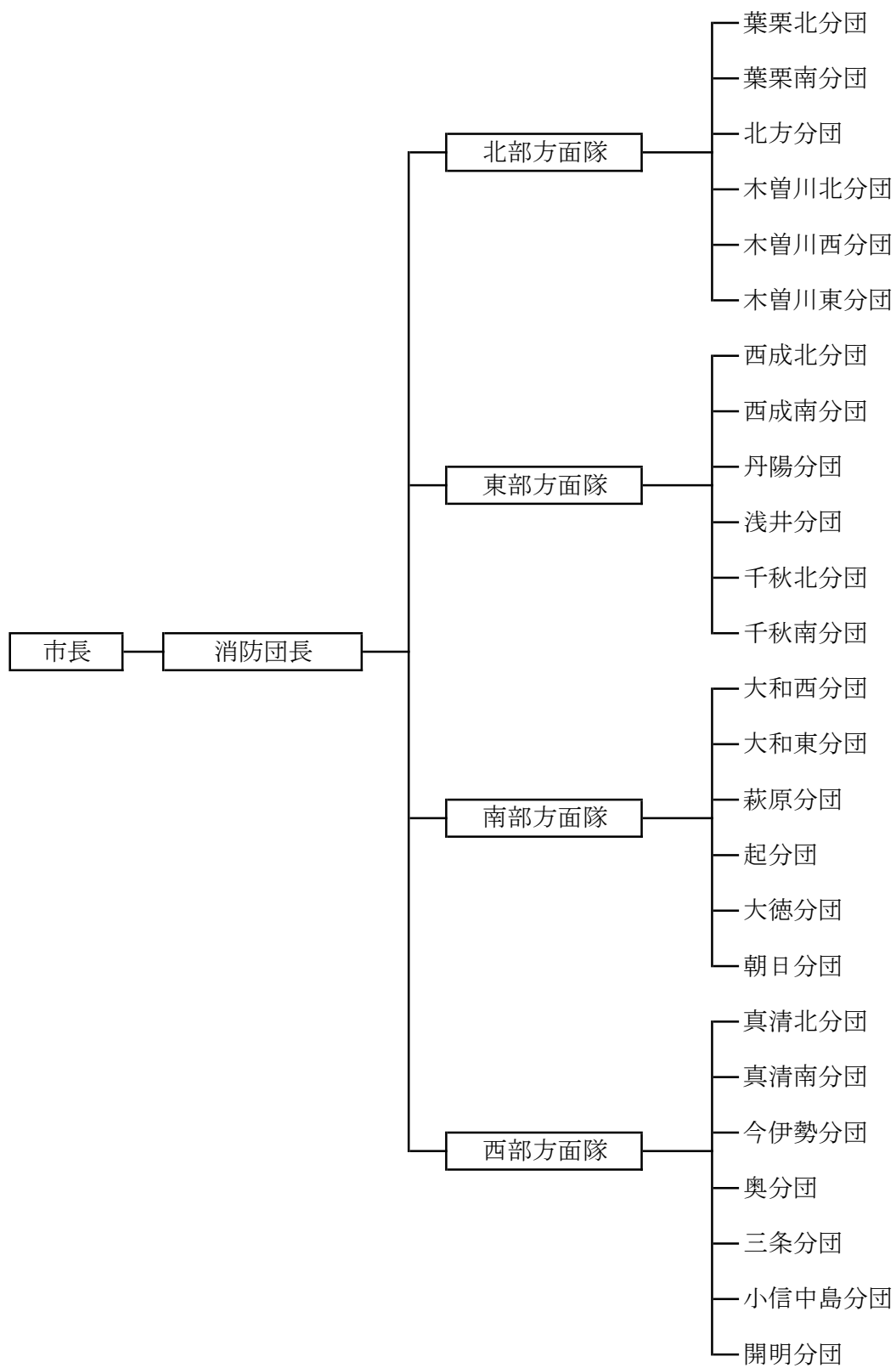


消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部	
総 務 課	○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰、音楽隊、消防職員委員会、福利厚生 ○消防団、水防、儀式 ○施設、水利、車両及び装備の整備、消防相互応援、消防計画
通 信 指 令 課	○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
予 防 課	○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理

消 防 署	
一宮消防署管理課	○署の予算編成、所管施設及び車両の修繕、署の企画調整、災害の警戒及び防ぎょ、救急統計、署員の救急教育及び訓練、救急の普及及び応急手当指導
尾西消防署管理グループ	○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、施設及び車両の修繕
木曾川消防署管理グループ	
指 揮 係	○災害の警戒及び防ぎょ、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、署の庶務、火災予防条例等の届出
警 防 １（２）係	
救 急 係	○救急及び救助活動並びに災害の警戒及び防ぎょ、火災予防査察、救助の統計、署の設備の管理
救 助 係	

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

平成29年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	2,667.00	3,419.99	S43.3
浅井・西成消防出張所	浅井町東浅井字新開前27番地	鉄 骨 造 2 階 建	572.45	2,730.45	H29.3
千 秋 消 防 出 張 所	千 秋 町 佐 野 字 加 村 1 番 地 1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消 防 署 整 備 工 場 (防 災 備 蓄 倉 庫 併 設)	千 秋 町 佐 野 字 加 村 1 番 地 1	鉄 骨 造 平 家 建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
八 幡 消 防 分 署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	737.54	H20.9
大 和 消 防 出 張 所	大和町苅安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	356.68	1,421.67	S54.12
丹 陽 消 防 出 張 所	多 加 木 四 丁 目 30 番 13 号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.01	H21.3
消 防 訓 練 施 設	多 加 木 四 丁 目 30 番 13 号	鉄筋コンクリート造2階建	139.60	上記に併設	S61.2
尾 西 消 防 署	西 五 城 字 中 切 浦 13 番 地 1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
萩 原 消 防 出 張 所	萩 原 町 串 作 字 水 絶 15 番 地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今伊勢・奥消防出張所	今伊勢町馬寄字東瀬古22番地1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木 曾 川 消 防 署	木曾川町黒田字北宿二の切247番地1	鉄筋コンクリート造2階建	1,291.67	5,135.00	S53. 3
葉 栗 消 防 出 張 所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62. 3
北 方 消 防 出 張 所	北 方 町 北 方 字 西 金 丸 60 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3. 3
浅 井 消 防 倉 庫	浅井町小日比野字本郷36番地3	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	358.29	934.61	H9. 3

※()内の面積は外数で記載

消防団の庁舎現況

平成29年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北部方面隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	261.00	H5. 1
	木曽川北分団	木曽川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.24	H2. 3
	木曽川西分団	木曽川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14. 3
	木曽川東分団	木曽川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.13	H13. 3
東部方面隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6. 3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	225.00	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4. 2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.2
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町荻安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3. 3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17. 3
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16. 3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24. 3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62. 3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58. 3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.20	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	364.00	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.12
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	補強コンクリート ブロック造平家建	126.00	237.60	S43.5
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

平成29年4月1日現在

区 分		名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過	ポ ン プ	
							年数	級別	メーカー
消 防 本 部 ・ 一 宮 消 防 署 本 署		本部指令車		一宮800さ1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	2		
		本署指令車		一宮800さ302	トヨタ E-SV40	H9	19		
		本署指揮車		一宮800さ291	ニッサン CBA-MNE51	H17	11		
		本署1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800さ985	日野 SKG-XZU640M	H23	5	A2	モリタ
		本署2号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	11	A2	長野ポンプ
		一宮1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は23	日野 KK-GD1JGDA改	H11	17	A2	日本ドライ ケミカル
		本署はしご車	40m はし ご 付 消 防 自 動 車	一宮830つ119	日野 KC-PR4FPDF	H11	17		
		本署救助工作車	3t クレーン 装 備	一宮800は9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	10		
		本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ586	ニッサン CBF-FPWGE50改	H20	8		
		一宮救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ198	ニッサン TC-FPWGE50改	H16	12		
		本署広報1号車		一宮800さ164	トヨタ UA-NCP59G	H14	14		
		本署広報2号車		一宮800さ264	ニッサン TA-NT30	H13	15		
		本署広報3号車		一宮800さ170	トヨタ GF-AT211G	H12	16		
		本署広報4号車		一宮800さ154	トヨタ E-AT191G	H8	20		
		本署広報5号車		一宮800さ401	ニッサン UA-NE51	H15	13		
		本署広報6号車		一宮800さ186	ニッサン CBA-NT30	H18	10		
		本署広報7号車		一宮500さ6305	ホンダ GF-RF1	H12	16		
		本署広報8号車		一宮100さ286	トヨタ GE-RZH183K	H14	14		
		本署広報9号車		一宮500そ6867	ホンダ DBA-GB3	H22	6		
		搬送3号車	パワーゲート・幌	一宮800さ335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	11		
		支 援 車	20人乗りマイクロバス	一宮800さ1684	ニッサン ABG-DHW41	H28	0		平和機械
出張所	浅井・西成	浅井・西成1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は52	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	5	A2	モリタ
		浅井・西成2号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は10	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	10	A2	長野ポンプ
		浅井・西成救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ721	ニッサン CBF-FPWGE50改	H21	7		
	千 秋	千秋1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は27	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	9	A2	長野ポンプ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	一宮800さ165	日野 KK-XZU331M	H12	16	A2	日本ドライ ケミカル
		千秋救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ973	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	5		

区 分	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
八幡消防分署	分署指令車		一宮800さ708	ニッサン DBA-NT31	H21	7		
	分署1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	4	A2	モリタ
	分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	2		
	搬送2号車	幌	一宮800さ330	マツダ PB-LKS81AR	H17	11		
	分署広報1号車		一宮480あ4001	三菱 V-U41V	H10	18		
出張所	大和	化学1号車	水 1,500ℓ 薬液 500ℓ	三菱 KK-FK61HGX	H15	13	A2	日本機械
		大和救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H27	1		
	丹陽	丹陽1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	6	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H28	0		
尾西消防署	尾西指令車		一宮800さ529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	14		
	尾西指揮車		一宮800さ1553	トヨタ CBF-TRH226S	H27	1		平和機械
	尾西1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800さ724	日野 BDG-XZU334M	H21	7	A2	モリタ
	尾西2号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は147	いすゞ SKG-FSR90S2	H28	0	A2	長野ポンプ
	一宮3号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	一宮800は18	三菱 KK-FK61HEX	H15	13	A2	日本ドライ ケミカル
	尾西はしご車	35m はしご付 消防自動車	一宮800は26	日野 KC-PR4FPDF	H11	17		
	尾西高所作業車	12m	一宮800さ92	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	18		
	尾西救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2821	トヨタ CBF-TRH226S	H27	1		
	一宮救急3号車	高規格救急自動車	一宮800さ419	トヨタ CBF-TRH226S	H19	9		
	尾西広報1号車		一宮800さ457	ニッサン GF-QU14	H11	17		
	尾西広報2号車		一宮800さ507	トヨタ GC-KR42V	H12	16		
	尾西広報3号車		一宮480あ2345	三菱 V-U41V	H9	19		
	搬送4号車	3t クレーン 装 備	一宮800さ393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	11		
出張所	萩原	萩原1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	7	A2	モリタ
		萩原2号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	三菱 KK-FK61HG改	H14	14	A2	日本機械
		萩原救急1号車	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H26	2		
	今伊勢・奥	今伊勢・奥1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	3	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	8	A2	長野ポンプ
		今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	4		

区 分	名 称	摘 要	登録番号	車 名 型 式	購入 年度	経過 年数	ポ ン プ	
							級別	メーカー
木曾川消防署	木 曾 川 指 令 車		一宮800さ227	トヨタ E-GX81改	H7	21		
	木 曾 川 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	4	A2	モリタ
	一宮2号車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800さ183	三菱 KK-FK61HG改	H14	14	A2	日本機械
	木 曾 川 救助工作車	3t クレーン 装 備	一宮800は21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	11		
	木 曾 川 高所作業車	12m	一宮800さ84	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	18		
	木 曾 川 救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	7		
	一宮 救急2号車	高規格救急自動車	一宮800さ159	ニッサン TC-FPWGE50改	H18	10		
	木 曾 川 広報1号車		一宮880あ16	ダイハツ V-S100V	H9	19		
	木 曾 川 広報2号車		一宮800さ424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	11		
	搬送1号車		一宮800さ345	マツダ PB-LKS81AR	H17	11		
出張所	葉 栗	葉 栗 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は22	三菱 KK-FL63HGX改	H15	13	A2 日本ドライ ケミカル
		葉 栗 救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	3	
	北 方	北 方 1 号 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	一宮800は11	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	12	A2 日本機械

総数 68台（消防本部・一宮消防署 36台、尾西消防署 19台、木曾川消防署 13台）

タンク車	19台(非常用3台含む)	救助工作車	2台
ポンプ車	1台	化学車	1台
救急車	14台(非常用3台含む)	その他	29台
はしご車	2台		

消防団車両の現勢

平成29年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入経過		ポンプ	
					年度	年数	級別	メーカー
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積載車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	10	B2 トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	12	A2 モリタ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	6	A2 日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積載車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	5	B2 トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積載車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	5	B2 トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	7	A2 モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積載車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	10	B2 トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	13	A2 モリタ
	丹陽分団	丹陽分団車	積載車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	12	B2 トーハツ
	浅井分団	浅井分団車	積載車	一宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	10	B2 トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積載車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	9	B2 トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	ポンプ車	一宮800さ416	日野 KK-XZU301E	H13	15	A2 GMいちはら
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積載車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	11	B2 トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	7	A2 小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	13	A2 モリタ
	起分団	起分団車	積載車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	8	B2 トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	7	A2 小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積載車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	4	B2 トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積載車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	9	B2 トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	ポンプ車	一宮800さ200	日野 KK-XZU301E	H14	14	A2 モリタ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積載車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	11	B2 トーハツ
	奥分団	奥分団車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	13	A2 モリタ
	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	8	A2 GMいちはら
	小信中島分団	小信中島分団車	積載車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	7	B2 トーハツ
	開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	2	A2 長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 12台、積載車 13台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校〈現在の大志小学校〉へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボンを身にまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員38名が、市の行事はもちろん高齢者福祉施設や小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約40回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成 元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

平成10年 第20回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演

平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える

平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじふた」を題材に子供たちの演劇を演奏

平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露

平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしやがやってきた」を披露

平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える

平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える

平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える

平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える

平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露

平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバンドとして出演

第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露

平成28年 第38回定期演奏会で青島広志氏(作曲家)をゲストに迎え、日本の吹奏楽にスポットをあて、吹奏楽オリジナル作品を披露

消防音楽隊の編成

平成29年4月1日現在

隊 長		消防長 西尾 欣孝	
副 隊 長		佐野 正樹	
常 任 指 揮 者		鈴木 竜哉	
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭ クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ストリングベース	1
テナーサキソフォン	1	ティンパニー・パーカッション	5
		計	38

消防音楽隊の活動状況

平成28年度中

区 分	合 計	内 容				
		演 奏				練 習
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	7			1	1	6
5 月	9		7	1	8	1
6 月	8	1	4		5	3
7 月	6		4		4	2
8 月	1					1
9 月	15	1	1	7	9	6
10 月	7					7
11 月	12	2			2	10
12 月	5			2	2	3
1 月	6	1	1		2	4
2 月	4					4
3 月	9			1	1	8
合 計	89	5	17	12	34	55

総務

当初予算の推移

(単位 千円)

年度 科目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般会計		105,215,000	105,443,000	110,450,000	111,300,000	110,040,000
消防費		3,496,663	3,453,097	4,650,533	3,934,001	3,716,700
消防費内訳	常備消防費	3,190,530	3,173,504	4,215,535	3,384,566	3,407,543
	非常備消防費	104,690	108,638	115,104	120,790	107,406
	消防施設費	191,279	161,313	310,269	419,020	192,151
	水防費	10,164	9,642	9,625	9,625	9,600

決算額と構成の推移

(単位 千円)

年度 科目		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般会計		101,580,452	106,932,872	112,394,166	106,887,317	114,494,731
消防費		3,560,636	3,598,834	3,435,695	3,479,629	4,470,485
消防費内訳	常備消防費	3,188,715	3,088,126	3,146,472	3,190,413	4,062,915
	非常備消防費	123,116	111,951	101,334	108,893	107,721
	消防施設費	238,895	388,969	177,823	170,681	290,224
	水防費	9,910	9,788	10,066	9,642	9,625
消防費の構成比		3.5%	3.4%	3.1%	3.3%	3.9%
人口一人当たりの消防費(円)		9,221	9,314	8,890	9,005	11,569
1世帯当たりの消防費(円)		24,358	24,385	23,096	23,082	29,286

消防職員の配置

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		389	1	2	15	25	79	183	44	40
消防本部	消 防 長	1	1							
	消 防 本 部 次 長	1		1						
	総 課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	総 務 課 付	4					1	3		
	庶 務 担 当	4					1	2	1	
	人 事 教 養 担 当	3					1	2		
	消 防 団 担 当	4					1	3		
	施 設 装 備 担 当	3					1	1	1	
	通 課 長	1			1					
	専 任 課 長	2				2				
	課 長 補 佐	1					1			
	第 1 課	7					2	5		
	第 2 課	7					2	4	1	
	予 課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	予 防 担 当	3					1	1	1	
	指 導 担 当	3					1	2		
	危 険 物 担 当	2					1	1		
	課 査 察 担 当	3					1	2		
	署 長	1		1						
	管 理 課 長	1			1					
	課 担 当	6					2	3	1	
	消 防 1 課 長	2			2					
	消 防 2 課 長	2			2					
	救 助 担 当 司 令	2				2				
	指 揮 係	8					2	6		
	警 防 1 係	13					2	8		3
	警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)	12					2	10		
	救 助 係 (特 別 救 助 隊)	12					2	7	3	
	救 急 係	10					2	4	3	1
	浅井・西成消防出張所 司 令 担 当	2				2				
	浅井・西成消防出張所 警 防 係	8					2	4	2	
	浅井・西成消防出張所 救 急 係	10					2	5		3
	千 担 当 司 令	2				2				
	千 秋 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	4	1	1
	千 秋 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	3	2	3

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
一宮消防署	分署第1(第2)課	分署長	1			1					
		担当司令	2				2				
		警防係	12					2	10		
		救急係	10					2	5	3	
		担当司令	2				2				
		大和消防出張所 警防係	8					2	4		2
		大和消防出張所 救急係	10					2	5	3	
		担当司令	2				2				
		丹陽消防出張所 警防係	8					2	4	1	1
		丹陽消防出張所 救急係	10					2	6	2	
尾西消防署第1(第2)課	萩原	署長	1			1					
		管理グループ	3					2	1		
		消防1課長	2			2					
		消防2課長	2			2					
		指揮係	8					2	4		2
		警防1係	12					2	7	1	2
		警防2係(特別消防隊)	12					2	6	1	3
		救急係	10					2	5	1	2
		担当司令	2				2				
		今伊勢・奥消防出張所 警防係	8					2	2	2	2
		今伊勢・奥消防出張所 救急係	10					2	6	1	1
		担当司令	2				2				
		萩原消防出張所 警防係	8					2	4		2
		萩原消防出張所 救急係	10					2	4	3	1
木曽川消防署第1(第2)課	葉栗	署長	1			1					
		管理グループ	3					3			
		担当司令	2				2				
		警防係	14					2	4	3	5
		救助係	12					2	9	1	
		救急係	10					2	4	2	2
		担当司令	2				2				
		葉栗消防出張所 警防係	8					2	4	1	1
		葉栗消防出張所 救急係	10					2	5	3	
		担当司令	1				1				
		北方消防出張所 警防係	9					2	4		3

消防職員の年齢

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	389	1	2	15	25	79	183	44	40
18歳 ・ 19歳	4								4
20歳以上24歳以下	19								19
25歳以上29歳以下	35							20	15
30歳以上34歳以下	74						48	24	2
35歳以上39歳以下	83						83		
40歳以上44歳以下	86					35	51		
45歳以上49歳以下	25				5	19	1		
50歳以上54歳以下	25			3	11	11			
55歳以上60歳以下	38	1	2	12	9	14			
平均年齢	38.9	57.0	57.0	55.9	53.0	47.3	37.1	29.9	24.1

消防職員の勤続年数

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	389	1	2	15	25	79	183	44	40
1年未満から5年	44							9	35
6年から10年	76						38	33	5
11年から15年	65						63	2	
16年から20年	58					15	43		
21年から25年	60				2	20	38		
26年から30年	23				2	20	1		
31年から35年	28	1	1	4	9	13			
36年以上	35		1	11	12	11			
平均年数	17.7	35.0	34.0	36.4	33.8	27.1	15.6	6.8	2.6

消防職員資格等保有状況

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分			合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
救 急 救 命 士			85			3	4	26	44	3	5
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士		66			1	2	18	38	3	4
	気 管 挿 管 救 急 救 命 士		16				2	3	11		
救 急 Ⅱ 課 程 ・ 救 急 標 準 課 程 修 了 者			286	1	2	12	21	53	139	41	17
大 型 一 種 自 動 車 免 許			331			12	22	72	176	38	11
中 型 一 種 自 動 車 免 許			23						6	5	12
自 動 車 士 整 備 免 許	ディーゼル	2 級	2					1		1	
		3 級	2						2		
	ガ ソ リ ン	2 級	4					2	1	1	
		3 級	4					1	3		
	シ ャ シ	3 級	5					3	2		
危 険 物 取 扱 者 免 状	甲 種		6		2			1	3		
	乙 種	第 4 類	63			2	3	14	34	4	6
		第 6 類	16					5	10		1
	丙 種		19				1	10	8		
陸 上 特 殊 無 線 技 士		第 2 級	226		1	2	7	13	127	43	33
		第 3 級	102			6	5	41	50		
消 防 設 備 士 免 状		甲 種	4			2		1	1		
		乙 種	9			2		1	5		1
1 ・ 2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許			108		2	2	6	32	54	10	2
ガ ス 溶 接 技 能 講 習			33			4	8	11	9	1	
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 能 講 習			14					5	8		1
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 免 状			9			4	1	4			
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許			16	1	1	2	1	8	3		
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習			8		1	3	1	2	1		
足 場 の 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習			37			2	7	14	14		
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習			157			15	20	48	70	4	
玉 掛 け 技 能 講 習			264			10	7	26	147	44	30
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習			45			9	9	19	7		1
潜 水 士 免 許			93			1	5	22	55	6	4
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)			20	1	2	1	3	6	7		
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 設 備 等 専 門 員)			13			1	3	4	5		
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)			15	1	2		4	6	2		
接 遇 研 修 指 導 者			6			2		3	1		
J K E T 研 修 指 導 者			4			2	1	1			

消防職員教育研修状況

平成28年度中

科 目	回数	日数	受講者	科 目	回数	日数	受講者
○派遣教育				○その他の教養			
県消防学校				研究会・講習会			
初任科(第102期)	1	170	4	消防大学校特別講習会	1	1	4
初任科(第103期)	1	173	6	愛知県消防学校受託研修	2	10	2
警防科(第65期)	1	16	3	安全運転管理者講習会	1	1	4
危険物科(第51期)	1	5	3	副安全運転管理者講習会	1	1	1
救急科(第113期)	1	52	5	消防救急緊急自動車運転技能者研修	1	4	1
救急科(第114期)	1	53	4	緊急自動車運転技能講習	1	4	36
救急科(第115期)	1	51	1	整備主任者技術研修会	1	1	1
救助科(第43期)	1	29	3	整備主任者定期研修会	1	1	1
水難救助科(第42期)	1	12	2	調査技術会議	1	1	4
上級幹部科(第65期)	1	3	3	全国消防救助隊員シンポジウム	1	1	2
はしご自動車等運用科(第23期)	1	3	1	全国救急隊員シンポジウム	1	2	1
はしご自動車等運用科(第24期)	1	3	1	救急救命士(気管挿管運用試験)	1	1	1
地震防災科(第11期)	1	2	2	日本救急医学会中部地方会	1	1	2
指揮隊科(第5期)	1	5	3	日本臨床救急医学会	1	2	1
外傷・災害対応講習(Aコース)	1	1	1	心電図セミナー(前期・後期)	2	1	4
外傷・災害対応講習(Bコース)	1	1	1	車両構造講習会	1	1	2
消防大学校				車両構造講習会(新幹線)	1	1	2
警防科(第100期)	1	51	1	火災調査研究発表会	1	1	4
救助科(第73期)	1	53	1	消防職員安全衛生研修会(東海支部)	1	1	3
火災調査科(第32期)	1	51	1	危険物特別講演会	1	1	2
救急救命士養成課程(名古屋)	1	202	1	全国消防長会東海支部消防長研修会	1	1	1
救急救命士養成課程(大阪)	1	194	1	消防職員惨事ストレス初級研修	1	2	1
○市職員研修				○資格取得・技能講習			
第1部前期(新規採用)研修	1	4	10	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	3	2
第3部1期研修	2	2	9	足場の組立て等作業主任者技能講習	1	2	3
第4部新任課長補佐級研修	1	2	7	有機溶剤作業主任者技能講習	1	2	1
新任課長級研修	1	1	3	玉掛け技能講習	1	3	2
第4部新任専任課長級研修	1	2	3	小型移動式クレーン運転技能講習	1	3	6
第5部ライフプラン研修	1	1	4	2級小型船舶操縦士	1	1	3
第5部クレーム対応研修	1	1	7	気管挿管再教育病院実習	4	22	4
平成28年度課長補佐・主査集合研修	1	1	対象者	薬剤投与講習(指導者講習)	1	4	4
公務災害事務研修会	1	1	1	プロトコール運用教育	1	1	3
人事評価制度見直しに伴う評価者研修	2	1	対象者	薬剤運用試験	1	1	3
不当要求防止責任者講習会	1	1	2	予防技術検定	1	1	2
○本部教養・所属教養							
職制教養	5	6	585				
集合研修	3	3	450				
初任者実務教養	2	180	10				
各種訓練研修	25	42	613				

災害防止

昭和60年10月一宮市消防職員安全管理規程を制定し、職員の安全管理と環境整備の促進を図るとともに、事故防止の徹底を図っています。さらに平成2年9月には労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

(単位 人)

区 分	総 括 安全衛生 管 理 者	副安全衛 生管理者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	1	2	5	2	13

安全管理

最近の公務災害は、3年間で7件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	7	4	1			2
平成26年中	2		1			1
平成27年中	3	2				1
平成28年中	2	2				

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長感謝状として贈るものです。

平成28年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	5	5			
表彰人員	13	13			

施設・装備充実事業

《浅井・西成消防出張所》

- 消防体制の基盤強化を図るため、浅井消防出張所及び西成消防出張所を統合した浅井・西成消防出張所を建設し、消防車両2台及び救急車両1台を配備
- 1階に事務室、食堂、便所、救急隊員の訓練及び小規模な救命講習を実施するための救急訓練室を設置、2階に個別仮眠室11室、浴室2室、洗面所及び便所を設置し、女性職員が勤務できるよう配慮した設計
- 災害等で濡れた防火衣を短時間で乾燥するための乾燥室、救急衣及び資器材等を消毒、保管するための消毒室を設置
- 雨水が川や水路へ流出するのを一時的に抑え、出水による被害を軽減できる雨水貯留槽及び環境にやさしい太陽光発電設備を設置



《尾西2号車 更新》

水槽付消防ポンプ自動車

- 1,500リットルの水槽及びCAFS(圧縮空気泡消火装置)を装備し、消防用資機材、AEDを含む呼吸管理資機材を積載



《丹陽救急1号車 更新》

高規格救急自動車

- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《支援車 新規購入》

20人乗りマイクロバス

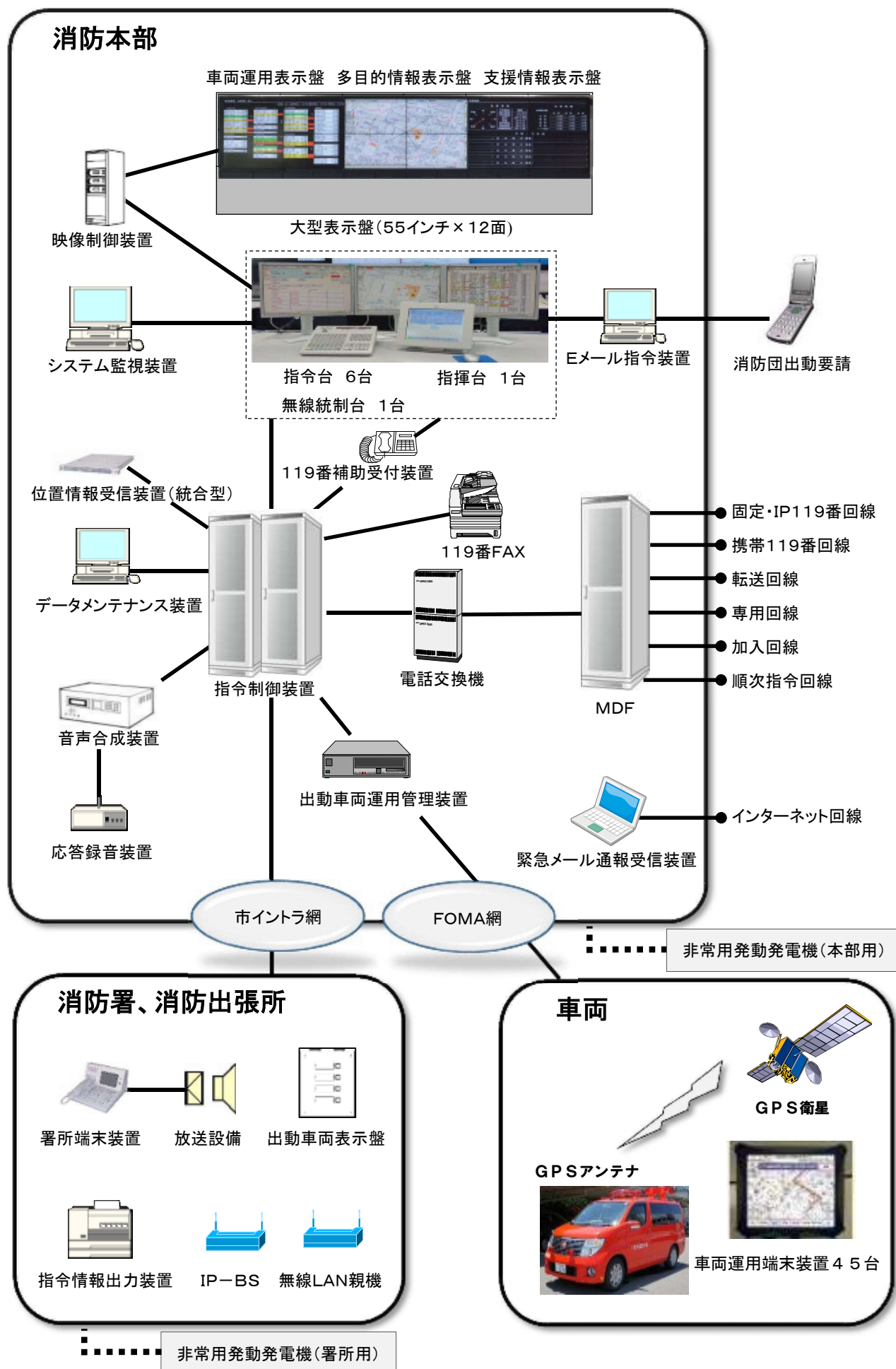
- 簡易トイレ等を装備し、火災、救急、救助等あらゆる現場において被災者及び職員の支援用として活用



通信

気象

指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz 帯)

平成 29 年 4 月 1 日現在

種別		出力	実装チャンネル数	局数	
基地局		10W	統制波 3 主運用波 1 活動波 6	1	
移動局	車載型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	61	141
	携帯型	5W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	75	
	可搬型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4	
	卓上型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1	

署活動系無線(400MHz 帯)

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	1W	署活動波 2 防災相互波 1	30

特定小電力トランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	0.01W	47	170

指令回線等一覧表

指令システム

平成29年4月1日現在

項目	名 称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・12ch
2	119番回線(携帯電話用)	4	・8ch
3	指令回線	12	・署所端末装置指令回線:12 (一宮消防署本署 尾西消防署 浅井・西成消防出張所 萩原消防出張所 千秋消防出張所 今伊勢・奥消防出張所 一宮消防署分署 木曽川消防署 大和消防出張所 葉栗消防出張所 丹陽消防出張所 北方消防出張所)
4	加入回線(ISDN)	4	・ISDN回線 8ch(順次指令用)
5	内線回線	6	・PBX内線収容
6	専用回線	4	・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路
7	転送回線(ISDN)	2	・4ch
8	庁内放送回線	1	・庁内放送用
9	音声合成回線	17	・指令用:7 ・無線用:1 ・災害テレホンサービス用:1 ・順次指令用:8

電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	1	・2ch(障害時用)
2	加入回線(アナログ)	4	・FAX用:2 ・FAX兼119番迂回用:1 ・119番迂回用:1
3	携帯電話	37	救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:14、救助隊:2 通信指令課:5
4	加入回線(NTTひかり)	1	・23ch、33番号

月別119番受信状況

平成28年中

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	22,543	1,945	2,100	1,897	1,860	1,665	1,788	1,768	1,997	1,676	1,885	1,813	2,149
火 災	172	10	12	14	12	22	13	6	27	10	17	10	19
救 急	15,665	1,382	1,324	1,327	1,230	1,168	1,203	1,340	1,387	1,198	1,304	1,281	1,521
救 助	132	10	12	10	9	7	14	8	12	14	14	13	9
そ の 他 の 災 害	69	6	2	8	7	5	6	7	5	3	5	6	9
いた ず ら	190	7	14	9	12	23	14	15	25	3	6	38	24
間 違 い	1,393	157	96	102	108	107	84	98	123	99	135	134	150
問 合 せ	780	63	53	53	52	51	74	64	63	61	68	73	105
病 院 問 合 せ	640	67	53	48	50	59	41	56	55	53	46	55	57
訓 練	584	18	46	66	68	55	45	26	32	57	57	71	43
試 験	1,990	94	373	158	209	84	210	80	189	102	186	108	197
そ の 他	733	122	109	80	80	67	58	54	67	54	29	8	5
転 送	195	9	6	22	23	17	26	14	12	22	18	16	10

携帯電話からの月別119番受信状況

平成28年中

種 別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	9,147	768	783	722	769	725	708	810	813	711	727	751	860
火 災	108	6	6	7	5	11	9	5	23	8	10	5	13
救 急	6,364	511	511	506	535	496	502	599	550	500	538	500	616
救 助	91	5	9	7	8	4	8	4	7	10	11	11	7
そ の 他 の 災 害	49	4	1	8	6	5	3	5	3		4	2	8
いた ず ら	139	4	12	6	3	16	12	15	20		2	32	17
間 違 い	758	79	53	51	57	61	35	57	72	55	65	87	86
問 合 せ	385	31	28	28	26	25	32	37	34	28	31	31	54
病 院 問 合 せ	375	43	31	26	34	34	22	32	26	33	29	33	32
訓 練	144	4	11	6	21	14	17	7	15	14	8	16	11
試 験	157	3	60	21	12	5	7	6	17	7		16	3
そ の 他	411	70	55	36	45	39	40	32	37	35	13	5	4
転 送	166	8	6	20	17	15	21	11	9	21	16	13	9

月別気象状況

平成28年中

区 分	気温℃			風速m/s		相対湿度%		実効湿度%		降水量 mm
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-5.0	14.3	5.1	18.2	1.7	31.0	79.0	70.2	79.3	63.0
2月	-3.7	19.5	5.6	18.8	1.8	25.8	73.9	66.5	74.2	79.0
3月	-1.3	21.8	9.7	15.5	2.2	18.5	69.1	59.1	70.3	104.5
4月	2.6	26.4	15.2	21.7	2.3	23.5	72.7	63.6	71.6	205.5
5月	10.7	32.9	20.3	18.0	2.1	13.3	70.4	58.6	70.2	161.5
6月	12.9	33.4	22.7	16.2	1.8	25.9	77.2	62.2	76.5	253.5
7月	20.3	36.4	26.7	13.4	1.5	28.6	76.7	70.4	77.5	162.0
8月	19.6	36.9	28.2	14.4	1.7	34.9	73.7	66.6	73.5	94.5
9月	15.9	34.2	24.7	14.6	1.4	29.7	84.8	72.2	83.7	384.5
10月	8.2	29.0	18.7	14.1	1.7	32.0	78.6	71.0	79.4	143.0
11月	2.8	20.5	11.9	15.4	1.6	36.6	78.4	69.4	78.3	85.5
12月	-1.0	17.2	7.3	17.5	1.6	43.4	80.7	75.6	80.5	75.5
年 間	-5.0	36.9	16.4	21.7	1.8	13.3	76.3	58.6	76.3	1,812.0

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

警報の種類	基 準	
暴風	平均風速	20m/s
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う
大雨(浸水害)	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm 平坦地以外:1時間雨量 80mm
洪水	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm 平坦地以外:1時間雨量 80mm
	流域雨量指数基準	青木川流域=13 大江用水流域=14
	複合基準	平坦地:3時間雨量70mmかつ流域雨量指数 日光川流域=5
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm

注意報の種類	基 準	
強風	平均風速	13m/s
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う
大雨	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm 平坦地以外:1時間雨量 30mm
	土壌雨量指数基準	116
洪水	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm 平坦地以外:1時間雨量 30mm
	流域雨量指数基準	青木川流域=10 大江用水流域=11
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm
雷	落雷等により被害が予想される場合	
乾燥	最小湿度30%で、実効湿度60%	
濃霧	視程	100m
霜	晩霜期に最低気温3℃以下	
低温	冬期:最低気温-4℃以下	
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合	
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm

消防団

消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

平成28年度中における主な活動は、火災出動延べ134回、1,107人、訓練出動延べ2,160回、17,209人でその他、出初式、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

平成29年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団（支 援 団 員）
1	25	605(100)	516(53)	1	4	25	25	25	25	411(53)

※（ ）内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

平成28年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 捜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	2,693	134	2,160	52	115		1	231
延 出 動 人 員	20,701	1,107	17,209	610	1,330		1	444

年報酬額

平成29年4月1日現在

階 級	基 本 団 員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金 額 (円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

費用弁償

平成29年4月1日現在

出動区分	災害出動	訓 練 等 出 動	観閲出動	出 初 め 出 動	警戒出動	年 末 警戒出動	機械点検 出 動
金 額 (円)	2,800 以内	1,700 以内	2,600 以内	2,600 以内	2,200 以内	2,600 以内	2,000 以内

消防団員の退職状況

平成28年度中(単位 人)

退職 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
41		1	1	4	4	7	5	19

消防団員の新任状況

平成28年度中(単位 人)

新任 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
40	4	3	5	9	5	4	4	6

消防団員の職業構成と就業形態

平成29年4月1日現在(単位 人)

職 業 構 成	公 務 員 等	国　　家　　公　　務　　員	
		地　　方　　公　　務　　員	12
		特殊法人等公務員に準ずる職員	22
	そ　　　　　　　　　　の　　　　　　　　　　他		482
合　　　　　　　　　　計			516
就 業 形 態	被　　　　　　雇　　　　　　用　　　　　　者		312
	自　　　　　　営　　　　　　業　　　　　　者		129
	家　　　　族　　　　従　　　　事　　　　者		13
	そ　　　　　　　　　　の　　　　　　　　　　他		62

消防団員の年齢

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支援団員)
合 計	516 (53)	1	4	25	25	25	25	411 (53)
21歳未満	2							2
21歳以上 25歳以下	12 (1)			1			1	10 (1)
26歳以上 30歳以下	16						1	15
31歳以上 35歳以下	32				1	1	4	26
36歳以上 40歳以下	65 (4)					3	4	58 (4)
41歳以上 45歳以下	95 (8)			3	4	6	4	78 (8)
46歳以上 50歳以下	87 (10)			6	4	6	2	69 (10)
51歳以上 55歳以下	86 (9)		1	4	8	3	4	66 (9)
56歳以上 60歳以下	56 (11)		1	6	2	3	3	41 (11)
61歳以上 65歳以下	30 (4)			2	5	1	1	21 (4)
66歳以上 70歳以下	30 (6)	1	2	3		2	1	21 (6)
71歳以上	5				1			4
平均年齢	47.8	67.0	62.0	53.4	53.4	49.0	45.3	47.0

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団員の勤続年数

平成29年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支 援 団 員)
合 計	516 (53)	1	4	25	25	25	25	411 (53)
1年未満から5年	151 (11)			1	2	2	8	138 (11)
6年から10年	104 (10)			3	5	9	7	80 (10)
11年から15年	80 (6)			2	5	4	5	64 (6)
16年から20年	72 (10)			6	6	6	1	53 (10)
21年から25年	39 (4)		1	3	5	2	2	26 (4)
26年から30年	37 (7)			8	1	1	2	25 (7)
31年から35年	16 (2)		2	1	1	1		11 (2)
36年から40年	10 (2)			1				9 (2)
41年から45年	5 (1)		1					4 (1)
46年以上	2	1						1
平均年数	12.9	46.0	31.8	20.3	15.9	14.0	10.7	12.0

※()内は支援団員数で内数で記載

予 防

火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
平成28年度中 (下段:参加人員)

区 分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 修 演 講 会	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習 再 講 習
合 計	25	962 64,038	10 878	6 391
4 月	2	60 3,440	2 96	
5 月	1	108 4,463		新規講習 1 63
6 月	3	99 3,663		新規講習 2 139
7 月	3	29 1,746		
8 月	2	65 5,200	1 6	
9 月	1	115 13,950	2 160	
10 月	3	97 5,465		
11 月	3	140 10,066	1 10	新規講習 2 138
12 月	2	75 5,079		
1 月	2	32 4,586	1 560	
2 月	1	54 2,499	2 21	再講習 1 51
3 月	2	88 3,881	1 25	

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

平成29年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
91	10,315	42	7,209	10	385

街頭消火器設置状況

平成29年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	337	今 伊 勢 町	628
貴 船	305	奥 町	367
神 山	424	萩 原 町	496
大 志	260	千 秋 町	469
向 山	284	起	114
富 士	329	小 信 中 島	250
葉 栗	430	三 条	301
西 成	836	大 徳	273
丹 陽 町	617	朝 日	387
浅 井 町	519	開 明	232
北 方 町	253	木 曽 川 町	893
大 和 町	972	合 計	9,976



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)



3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

平成28年度中

区 分	合 計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	3	4	2	3	1	1		
4 月								
5 月								
6 月								
7 月								
8 月	1	1			1	1		
9 月								
10 月								
11 月								
12 月	1	2	1	2				
1 月								
2 月								
3 月	1	1	1	1				



査察対象物数

平成29年4月1日現在

防火対象物			査察種別	1 種	2 種	3 種	合 計	特 定 防 火 対 象 物	非特定防火対象物
合 計				1,274	1,742	1,432	4,448	1,874	2,574
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等		6			6	6	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場		90		71	161	161	
2	イ	キャバレー・カフェ等		1		4	5	5	
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル		21			21	21	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等		1		8	9	9	
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		16			16	16	
3	イ	待 合 ・ 料 理 店		4			4	4	
	ロ	飲 食 店		68		224	292	292	
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト		221		179	400	400	
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル		25			25	25	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅			772	352	1,124		1,124
6	イ	病 院 ・ 診 療 所		95			95	95	
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等		118			118	118	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等		154		60	214	214	
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等		28		1	29	29	
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等		15	65	8	88		88
8		図 書 館 等			4		4		4
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場							
	ロ	公 衆 浴 場			4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場							
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会			10	44	54		54
12	イ	工 場 ・ 作 業 場		33	403	53	489		489
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場		5	8		13		13
14		倉 庫		38	226	15	279		279
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等		12	175	167	354		354
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物		320		159	479	479	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物		3	72	85	160		160
17		文 化 財 建 造 物			3		3		3
18		ア ー ケ ー ド							

備考

- 1種: 定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種: 消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種: 消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

平成29年4月1日現在

区 分	合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	18 階	20 階	21 階
合 計	3,565	1,966	764	320	143	91	107	40	54	32	16	15	7	7	1	1	1
宮 西	262	123	55	25	14	14	12	5	4	5	1		3	1			
貴 船	188	101	36	14	9	6	8	2	7	3	1	1					
神 山	415	182	102	20	28	17	23	17	13	4		5	1	3			
大 志	289	152	62	37	13	2	7		4		3	3	1	2	1	1	1
向 山	117	64	30	6	4	3	6	1	2	1							
富 士	129	72	24	16	5	4	3		3	1		1					
葉 栗	61	31	20	7		3											
西 成	207	127	44	20	4	3	5	2	2								
丹 陽 町	355	214	86	24	15	2	4	4	2	3	1						
浅 井 町	70	38	13	8	2	2	2	4		1							
北 方 町	31	16	6	3		2	3	1									
大 和 町	397	206	84	44	22	20	12	1	5	2	1						
今伊勢町	178	114	24	11	8	4	3	2	2	4	4	1	1				
奥 町	86	60	12	5	2	1	3		2	1							
萩 原 町	80	46	15	7	2	3	4		1	2							
千 秋 町	76	47	22	7													
起	23	17	2	1		1	1						1				
小信中島	80	49	9	11	2	2	1		4	1	1						
三 条	122	71	20	17	5	1	3				2	3					
大 徳	66	28	21	10	3		1	1		1	1						
朝 日	43	20	17	5	1												
開 明	68	51	11	3	1				1	1							
木曾川町	222	137	49	19	3	1	6		2	2	1	1		1			

各種届出件数

平成28年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	570	62	70	39	67	63	28	55	32	58	36	24	36
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	586	57	110	45	75	32	27	44	33	56	40	23	44
全体についての消防計画作成(変更)届													
統括防火・防災管理者選任(解任)届	1				1								
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	128	9	4	6	10	16	14	15	11	13	10	7	13
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	12	3	1		3	1		1	2	1			
管 理 権 原 者 変 更 届													
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	6	1		1		1	1			1			1
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	39	3	6		2	2	7	2	4	3		4	6
変 電 設 備 設 置 届	36	2	1	2	3	3	4	2	3	3	4	4	5
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	21	2				1	3		2	3	2	4	4
蓄 電 池 設 備 設 置 届	35	2	5	7	1	3	4	2	4	2	3	1	1
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届													
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	117	2	1	1	1	3	6	9	26	56	8	2	2
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	10	1	1	2	1			1	1	1	2		
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	46	2	2	3	5	4	1	2	6	10	2	4	5
催 物 開 催 届	19	1	1	3	3	2	1	2	1	2	1	1	1
水 道 断 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	3,833	250	212	272	321	345	339	350	402	379	315	357	291
露 店 等 の 開 設 届	127	7	8	10	35	18	13	15	10	3	2	1	5
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届	104	5	3	6	12	8	8	14	15	10	1	9	13
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	19	1		1	1		5	1	2	2	1	3	2
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	10	1		1				2	1		2	1	2
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	17	4		2	1		2	1	1	2	1	1	2
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	2	1		1									
消 防 用 設 備 等 設 置 届	572	45	36	60	37	39	54	34	60	62	46	45	54
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	3,230	274	245	290	186	206	247	211	402	333	181	294	361
消 防 用 設 備 等 着 工 届	308	27	22	19	20	24	19	41	30	32	27	21	26
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	227	15	14	12	13	24	18	26	24	22	15	15	29
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願	20	2	2	2	2	1	2	3	1		1	2	2
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	174	17	10	16	14	10	16	11	14	15	12	12	27
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	110	19	12	15	9	4	5	3	6	10	5	8	14
指 定 洞 道 等 届													
消 防 訓 練 実 施 届	971	75	128	65	42	91	107	91	144	54	30	72	72
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	201	67	30	19	10	17	20	14	7	3	7	3	4

用途別同意建築物数

平成28年度中

防 火 対 象 物			合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計			620	37	50	56	50	99	50	37	44	45	36	59	57
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等													
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	5	2	1				1		1				
2	イ	キャバレー・カフェー等													
	ロ	遊 技 場 ・ ダンスホール	1			1									
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待 合 ・ 料 理 店													
	ロ	飲 食 店	4		1	1			1				1		
4		百 貨 店 ・ マーケット	34	4	5	9	2	2			5	2	4	1	
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	1								1				
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	36	3	3	2	2	8	2	1	3	2	3	5	2
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	25	1	5	4	3	1	1	1	2	2	1	3	1
	ロ	特 定 社 会 福 祉 施 設 等	17			2	3	2	3	1	1	2		2	1
	ハ	社 会 福 祉 施 設 ・ 保 育 園 等	10		2	1	1	3	1		1				1
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校													
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等	6					1		1		1		2	1
8		図 書 館 等													
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場													
	ロ	公 衆 浴 場													
10		車 両 の 停 車 場 等													
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	6	1			2	1		2					
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	25	2	1	1		2	2	2	3	3	4	2	3
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	20	1	2	1		2	4		6	2		1	1
14		倉 庫	25		1		3	6	2	4		1	2	3	3
15		官 公 署 ・ 事 務 所 等	91	4	7	2	7	39	6	6	5	6	3	3	3
16	イ	特定複合用途防火対象物	16	2	1	1		1	3	1			1	4	2
	ロ	特定以外の複合用途 防 火 対 象 物	8			2		2	1				1	1	1
専 用 住 宅			290	17	21	29	27	29	23	18	16	24	16	32	38

危険物施設数

平成29年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
合計	437	3	275	59	51	36	90		33	6	159	111	32	47	1
宮西	11		5	2		1	2				6	3	1	2	1
貴船	9		5		2		3				4	3	2	1	
神山	20		17	1	4	2	2		8		3	1		2	
大志	3		2				2				1			1	
向山	13		9	1			4		3	1	4	3	1	1	
富士	6		2				2				4	3	1	1	
葉栗	11		6		1		4			1	5	5	2		
西成	36		23	2	8	1	6		6		13	12	2	1	
丹陽町	40		25	9	1	1	12		2		15	12	4	3	
浅井町	14		8	1	1	2	4				6	3	2	3	
北方町	19	3	11	1	3		6			1	5	2		3	
大和町	35		19	4		2	12			1	16	11	4	5	
今伊勢町	15		11	4	2	2	2		1		4	2	2	2	
奥町	15		12	2		5	5				3	2	1	1	
萩原町	31		15	5	3	1	2		4		16	13	1	3	
千秋町	14		7	1	1	2	3				7	7	1		
起	7		4		2	2					3	1		2	
小信中島	6		4	1	1	2					2	2	1		
三条	12		5	1	1	1	2				7	5	3	2	
大徳	12		9		1	3	4		1		3	1		2	
朝日	53		40	15	11	3	8		3		13	5		8	
開明	23		18	6	2	4	4		1	1	5	2	1	3	
木曽川町	32		18	3	7	2	1		4	1	14	13	3	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

平成29年4月1日現在

区 分			合 計	製 造 所 計	貯 蔵 所								取 扱 所				
					小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
許 可 施 設 数			437	3	275	59	51	36	90		33	6	159	111	32	47	1
倍 数 別	倍	5倍以下	147		123	24	9	22	38		28	2	24			23	1
		5倍を超え 10倍以下	95	1	74	18	13	14	25			4	20	6		14	
		10倍を超え 50倍以下	113	1	65	15	27		22		1		47	39		8	
		50倍を超え 100倍以下	14	1	10	2	1		3		4		3	1		2	
		100倍を超え 150倍以下	7		1				1				6	6			
		150倍を超え 200倍以下	17		1		1						16	16	1		
	別	200倍を超え 1,000倍以下	44		1				1				43	43	31		
		1,000を超え 5,000倍以下															
		5,000倍を超え 10,000倍以下															
		10,000倍を超えるもの															
類 別	単	第 1 類	1		1	1											
		第 2 類															
		第 3 類															
	独	第 4 類	433	3	271	55	51	36	90		33	6	159	111	32	47	1
		第 5 類	1		1	1											
		第 6 類															
		混 在	2		2	2											

危険物施設の設置・変更許可等

平成28年度中

区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
														ル フ 給 油 取 扱 所		
許 可	設 置	5		5						5						
	変 更	43		3	2			1				40	14	6	26	
仮 使 用 承 認		38		1				1				37	11		26	
完 成 検 査	設 置	6		5						5		1				1
	変 更	40		3	2			1				37	14	6	23	
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認		4														

タンク検査状況

平成28年度中

検 査 区 分	容 量	件 数	小 計	合 計
水 張 検 査	1万リットル以下のタンク	15	15	15
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水 圧 検 査	1万リットル以下のタンク			
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

平成28年度中

合 計	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 認 可 申 請	譲 渡 引 渡	品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届	廃 止 届	変 更 届	事 故 発 生 届	休 止 ・ 再 開 届	許 可 書 等 再 交 付 申 請	設 置 ・ 変 更 取 り や め 届	設 置 ・ 変 更 許 可 申 請 取 下 書	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届	資 料 提 出 書	火 気 使 用 届	軽 微 工 事 届	地 下 貯 蔵 タ ン ク 等 に 関 す る 計 画 届
217	1	3	1	10	41	11					25	74		49	2

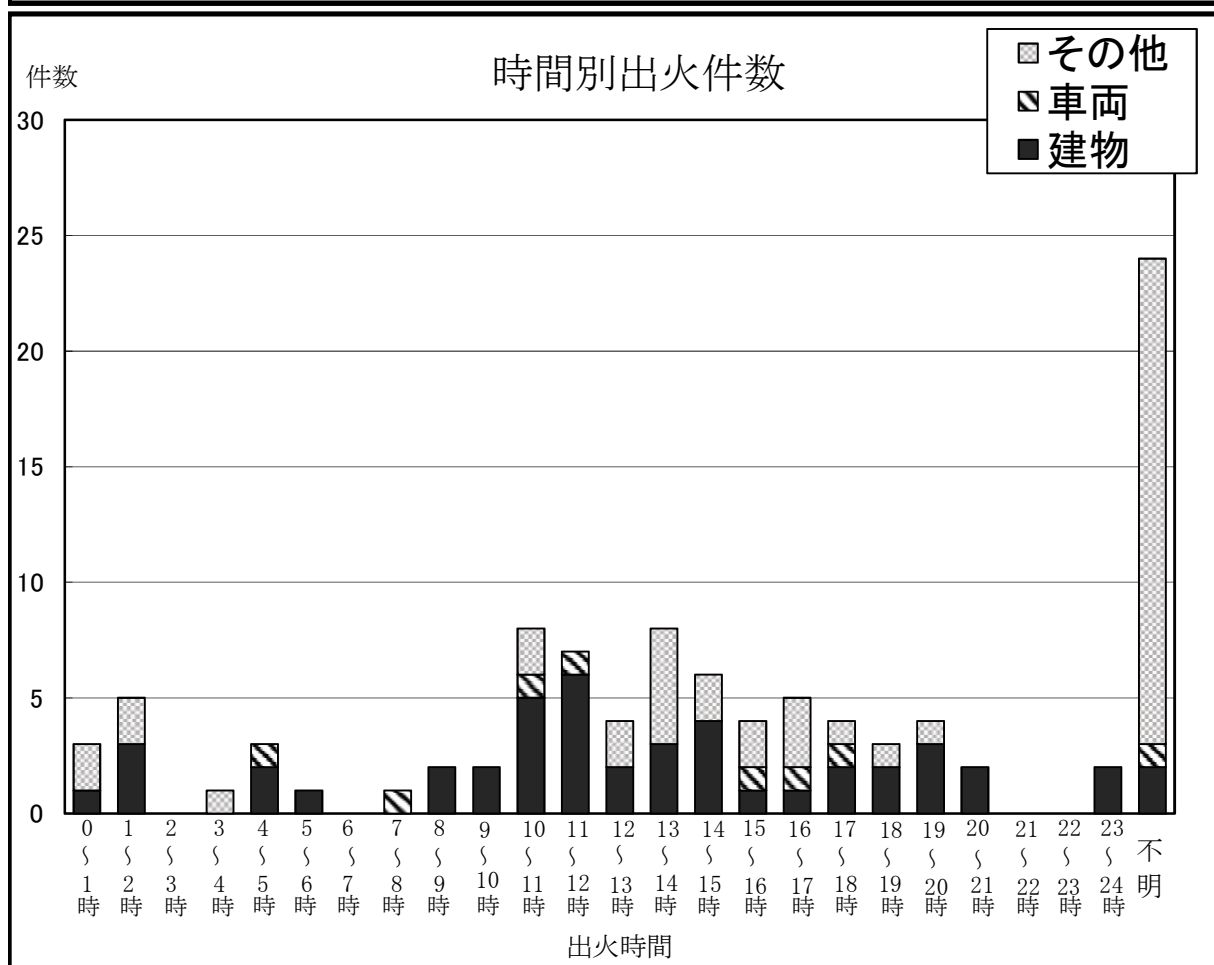
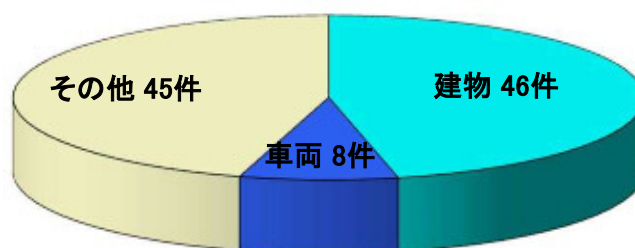
火

災

火災の概況

平成28年中

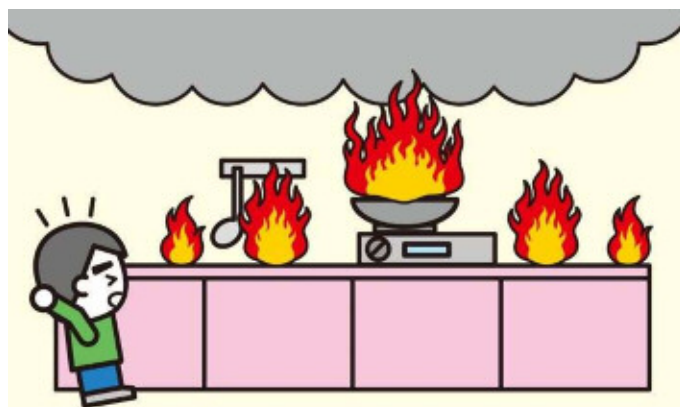
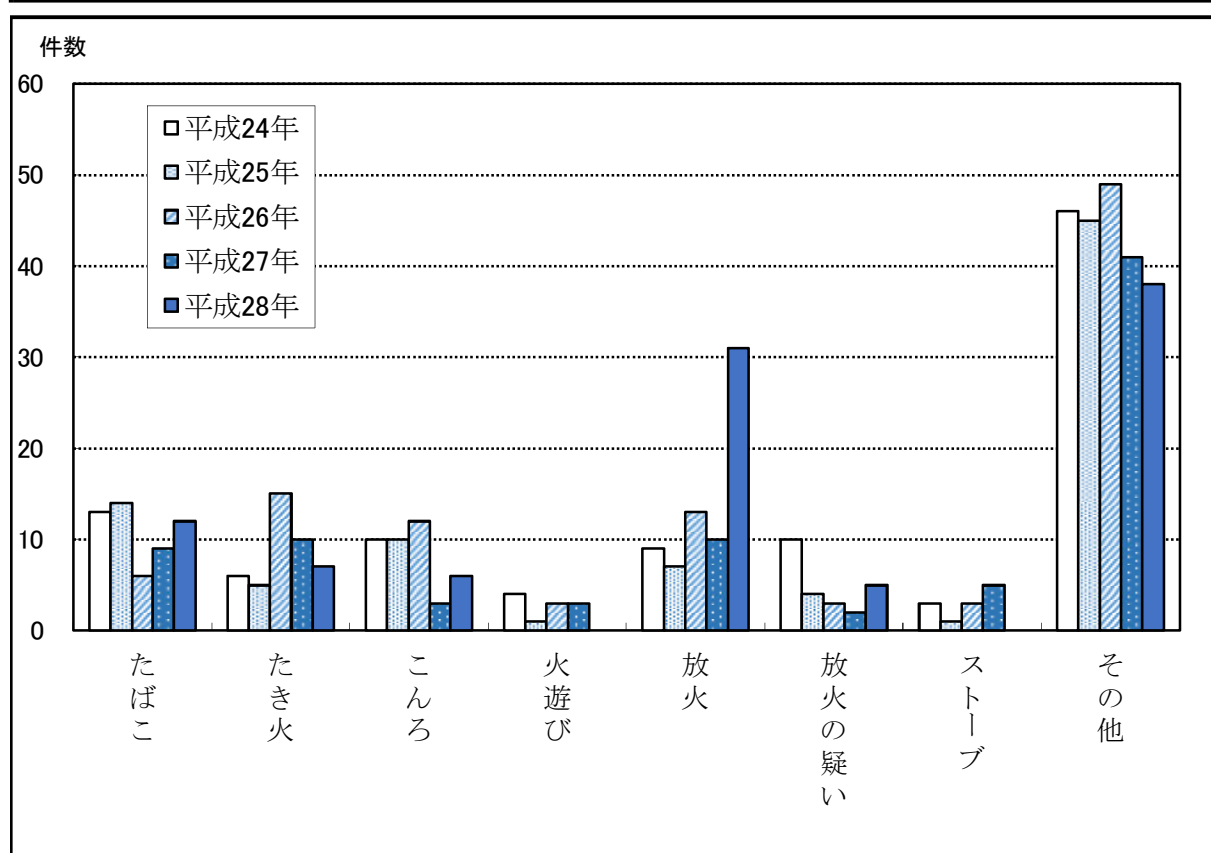
火災種別件数				焼損棟数	り災世帯数	死者	負傷者	建物焼損床面積	建物焼損表面積	その他	損害額
合計	建物	車両	その他	(棟)	(世帯)	(人)	(人)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(千円)
99	46	8	45	51	35	3	16	814	40	1,772	55,087



出火原因

(単位 件)

区 分	合 計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
平成24年	101	13	6	10	4	9	10	3	46
平成25年	87	14	5	10	1	7	4	1	45
平成26年	104	6	15	12	3	13	3	3	49
平成27年	83	9	10	3	3	10	2	5	41
平成28年	99	12	7	6		31	5		38



建物用途別・原因別件数

平成28年中

区 分	合 計	住 宅 火 災				店 舗	工 場・作 業場	飲 食 店	そ の 他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合 計	46	28	22	2	4	2	8	1	7
た ば こ	8	7	3	2	2				1
こ ん ろ	6	6	6						
風呂かまど									
ストーブ									
電 気 機 器	4						3		1
電灯・電話等 の 配 線	1	1	1						
火あそび									
た き 火									
放 火	3	2	2						1
放火の疑い	1	1	1						
そ の 他	18	8	7		1	2	4	1	3
不 明	5	3	2		1		1		1

連区・月別の火災件数

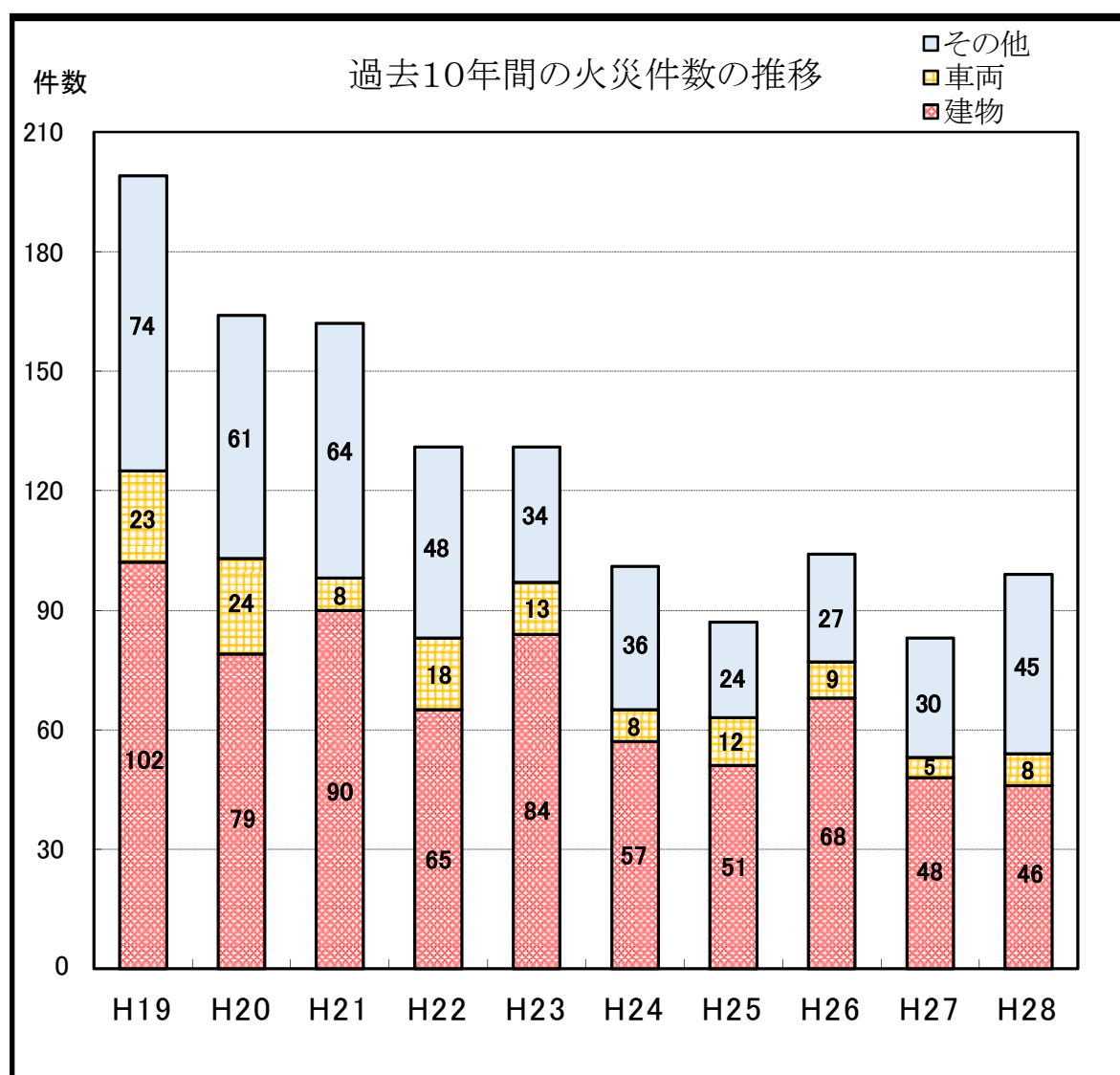
区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 延 焼	物 不 延 焼	車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
合 計	99	4	42	8	45	7	5	13	26	7	3	25	91
宮 西	1				1								
貴 船													
神 山	2		2			1			1	1			5
大 志	1		1						1				
向 山	3		3					1	2	1		5	7
富 士	2		2				1		1		1	1	5
葉 栗	3		2	1				1	1			1	6
西 成	20		2		18				2				
丹 陽 町	7	1			6	1			2	1		2	9
浅 井 町	3		1		2		1				1		1
北 方 町	1		1						1			1	3
大 和 町	8	1	5	1	1		1	2	4		1	3	14
今 伊 勢 町	6	1	5			1		2	4	1		4	13
奥 町	3	1	2			1		1	2	1		1	3
萩 原 町	8		4	2	2			3	1			3	10
千 秋 町	13		2	1	10		1		1				
起	2		2					2					
小 信 中 島	1				1								
三 条	2		1		1		1			1		1	5
大 徳	1		1			1				1			5
朝 日	3		1		2	1							
開 明	3		2	1		1		1				1	1
木 曾 川 町	6		3	2	1				3			2	4
1 月	4		4			1		1	2	1		2	12
2 月	7	1	3		3	1	1		3	1		2	5
3 月	6	1	3	1	1	1	1		4	2		3	14
4 月	3		1	1	1			1		1		3	4
5 月	14		6	1	7	1	1	2	2		1	3	11
6 月	6		5		1		2		3		2	1	9
7 月	2		1		1			1					
8 月	11		3	1	7			1	2			1	3
9 月	23		5	3	15			1	4			4	10
10月	12	1	6	1	4	1		3	4			5	15
11月	4	1			3	1		1		1		1	3
12月	7		5		2	1		2	2	1			5

平成28年中

死傷者		焼 損 面 積 (㎡)			損 害 額 (千円)						火 災 一 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)
死	傷	床	表	そ	合	建	収	車	そ	爆	
者	者	面	面	の	計	物	物	両	他	発	
積	積	他									
3	16	814	40	1,772	55,087	47,213	5,423	2,209	242		556
		112			3,065	2,345	720				1,533
1	2	20	1		2,103	2,078	25				701
1		79			16,975	16,318	657				8,488
	1		2		98	25	1	72			33
	1			395	344		236	15	93		17
	2	41	1	20	849	733	32		84		121
		79		332	1,437	881	556				479
	1										
	1	42	3		3,595	3,404	139	50	2		449
	1	76			1,670	1,410	260				278
1		113	2		1,971	1,452	414	105			657
	1	18	12	193	2,464	1,746	34	684			308
		4		745	1,271	27	852	367	25		98
	1		9		411	35	376				206
	1	37		7	808	583	223		2		404
	2	145			15,928	15,388	540				15,928
	1	4		80	5				5		2
		44	10		1,208	787	333	57	31		403
	1				885	1	25	859			148
	2	145	2		15,956	15,414	542				3,989
	1	69		590	1,646	1,299	309	22	16		235
	4	78	1	15	1,837	1,316	469	50	2		306
1	2	20	1	110	2,353	2,078	25	250			784
	2	81	13	103	5,274	4,021	491	624	138		377
1	1	159			18,446	17,227	1,214		5		3,074
		4		90	82	59	23				41
	1		4	859	118	8	38	72			11
	1	13			2,441	1,642	10	745	44		106
	1	17	12	5	699	316	11	341	31		58
1		113	2		1,925	1,452	364	105	4		481
	1	115	5		4,310	2,381	1,927		2		616

過去10年間の火災発生件数

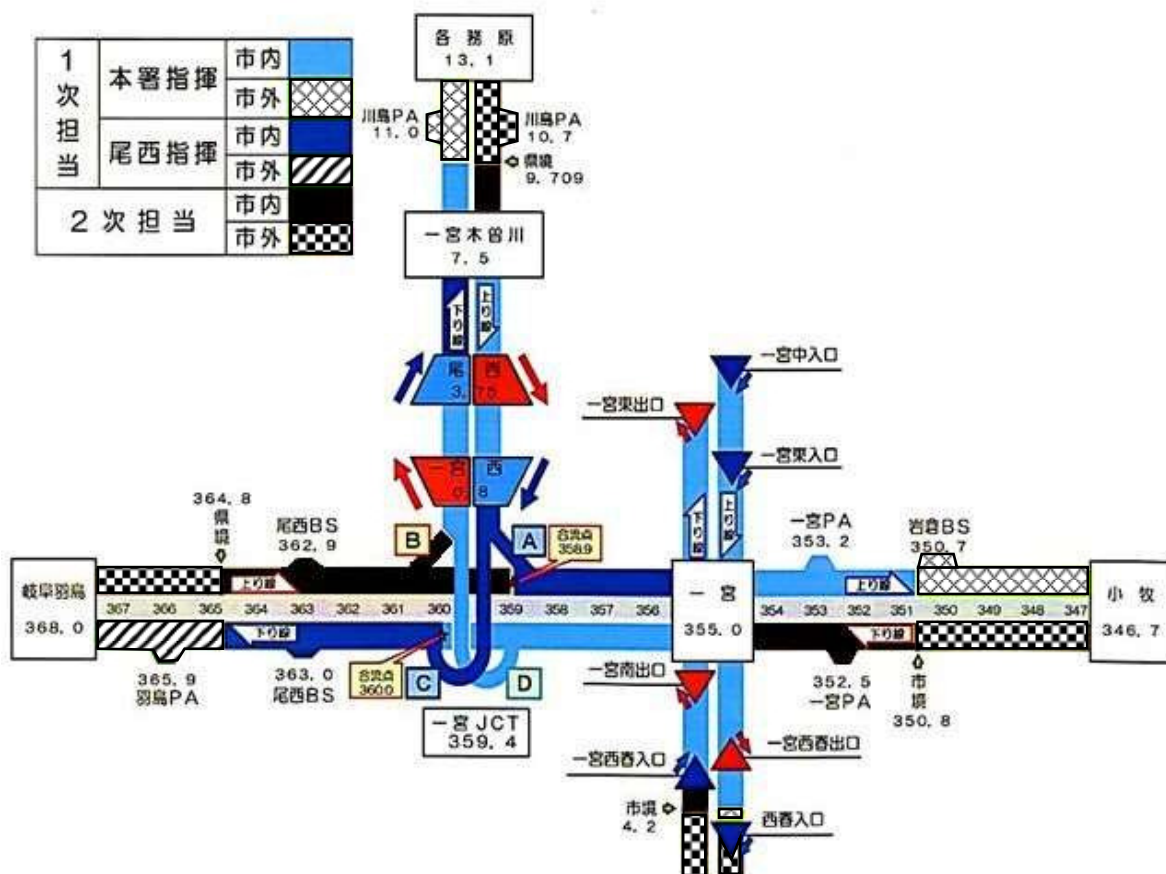
区 分	火 災 件 数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損 害 額 (千 円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成19年	199	102	23	74	7,103	9	19	496,587
平成20年	164	79	24	61	2,016	10	15	120,129
平成21年	162	90	8	64	3,945	5	27	166,070
平成22年	131	65	18	48	3,362	8	20	121,566
平成23年	131	84	13	34	2,616	7	15	162,609
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407
平成27年	83	48	5	30	1,800	5	9	87,236
平成28年	99	46	8	45	814	3	16	55,087



高速道路の火災

平成10年12月13日、東海北陸自動車道が一宮JCT～尾西ICの開通により名神高速道路と結ばれ、さらに平成17年2月11日名古屋高速道路16号線が開通しました。

これに伴い本市の第1次担当区域は、下図に示すとおり広範囲になりました。



＜過去10年間の出動件数＞

区 分	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
計	8	5(1)	3(1)	2	2	1(1)	1	2(1)	1	4(3)
車 両	8	4(1)	3(1)	2	2		1	2(1)	1	4(3)
その他		1				1(1)				

※()内は管轄外出動で内数で記載

敬 防

消防車両の配置状況

消防本部・消防署

平成29年4月1日現在

区 分		車 両	
一宮消防署	本 部 ・ 本 署	指令車	2台
		救助工作車	1台
		指揮車	1台
		高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台
	浅井・西成消防出張所	広報車	9台
		はしご付消防自動車	1台
		搬送車	1台
		支援車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台
		高規格救急自動車	1台
消防署	千秋消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台
	分 署	消防ポンプ自動車	1台
		指令車	1台
		高規格救急自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台
		広報車	1台
尾西消防署	大和消防出張所	搬送車	1台
		化学消防ポンプ自動車	1台
		高規格救急自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台
	丹陽消防出張所	高規格救急自動車	1台
		高所作業車	1台
		高規格救急自動車	2台
尾西消防署	尾 西 消 防 署	広報車	3台
		はしご付消防自動車	1台
		搬送車	1台
		指令車	1台
	萩原消防出張所	高規格救急自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台
		高規格救急自動車	1台
木曾川消防署	今伊勢・奥消防出張所	高規格救急自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台
		高規格救急自動車	2台
		広報車	2台
	木 曾 川 消 防 署	搬送車	1台
		救助工作車	1台
		高所作業車	1台
消防署	葉栗消防出張所	高規格救急自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台
消防署	北方消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	1台

災害種別の出動状況

平成28年中

区 分			出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
合 計(1)+(2)+(3)			2,899	3,568	13,191
小 計(1)			99	477	1,729
火 災	一 般 火 災	建 物 火 災	45	355	1,284
		高 層 火 災	1	1	4
		車 両 火 災	7	16	59
		そ の 他 の 火 災	45	99	361
	特 殊 火 災	地 下 火 災			
		特 殊 車 両 火 災			
		航 空 機 火 災			
	特 別 火 災	指 定 建 物 火 災			
		危 険 物 施 設 火 災			
	高 速 自 動 車 道	車 両 火 災	1	6	21
		車 両 以 外 の 火 災			
		そ の 他 の 火 災			
小 計(2)			107	146	541
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ				
	ガ ス 漏 れ		3	12	45
	怪 煙		9	18	66
	漏 油		80	82	301
	火 災 警 戒		4	12	45
	そ の 他		11	22	84
小 計(3)			2,693	2,945	10,921
焼 損 事 故			30	141	522
誤 報			19	91	330
虚 報			7	57	212
応 援 (火 災 ・ 警 戒)			3	15	55
救 急 支 援			2,634	2,641	9,802

月別庁外業務活動状況

平成28年中

業 務 種 別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		30,594	2,659	2,613	2,659	2,635	2,507	2,410	2,447	2,527	2,277	2,552	2,568	2,740
災害 出 動	火災出動	99	4	7	6	3	14	6	2	11	23	9	7	7
	救急出動	16,882	1,497	1,427	1,464	1,322	1,273	1,291	1,413	1,523	1,293	1,385	1,384	1,610
	救急支援	2,634	255	252	229	212	190	210	187	205	172	219	225	278
	救助出動	210	16	18	18	20	18	17	9	16	21	22	17	18
	警戒出動	108	8	5	11	11	11	8	8	7	8	6	12	13
	捜索活動													
	応援出動	3					1	1	1					
	誤報等出動	26	5	4	2	3	2		1		3		3	3
焼 損 事 故		30	1	1	3	1	2	4	3	4	4	2		5
火 災 調 査		99	4	7	6	3	14	6	2	11	23	9	7	7
演 習 ・ 訓 練	署 所 訓 練	6,351	465	495	443	689	624	503	586	556	538	604	432	416
	全 署 訓 練	77	5	3	3	8	8	8	4	5	3	6	21	3
	合 同 訓 練	5					2				1		2	
広 報 ・ 指 導	消火器取扱 訓 練	68	1	2	5	5	5	6	6	3	7	10	15	3
	予 防 広 報	207		2	91	11	9						91	3
	そ の 他	28	4		15			2				1	6	
特 別 警 戒	警 戒 巡 回	97	3		4	8	29	23		2	3	8	15	2
	行催事警戒	45			18	22	2		2	1				
警 防 調 査	消 防 水 利 調 査	583	52	52	52	67	86	76	50	10	15	20	52	51
	防 火 井 戸 性 能 試 験	191			73	115	3							
	空地等調査	304	93	24	25			1				55	64	42
	広 聴 調 査	371	39	20	28	14	25	23	26	26	31	47	39	53
	対象物調査	15	1	4	4	1	1			1	1		2	
	そ の 他	26	1	2	4	2		2	4	4	3	2	2	
	予 防 査 察	918	147	223	97	4	11	24	34	51	43	34	97	153
そ の 他	街頭消火器 点 検	471	24	41	29	21	52	59	66	38	26	33	42	40
	消 防 防 災 施 設 点 検	260	25	13	13	23	15	14	15	36	40	33	11	22
	救命講習・ 救急法指導	252	7	7	7	17	41	74	21	8	15	28	19	8
	消防団訓練 指 導	211	2	3	8	52	66	51	3	3	4	15	1	3
	そ の 他	23		1	1	1	3	1	4	6		4	2	

消防活動用資器材の配置

平成29年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
一般 救 助 器 具	か ぎ 付 は し ご	8	2						4			2		
	三 連 は し ご	21	3	2	1	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5	1		1		1	1		1				
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	3	1						1			1		
	救 命 索 発 射 銃	2	1									1		
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	38	11	3	2	1	1	1	7	2	2	6	1	1
	平 担 架	7	2			1			3			1		
	バ ス ケ ッ ト 担 架	3	1						1			1		
	滑 車	41	20									21		
	送 排 風 機	2	1									1		
	安 全 帯	45	19						15			11		
	緩 降 機	2							1			1		
	マンホール救助器具	3	2									1		
重 量 物 排 除 器 具	油 圧 ジ ャ ッ キ	18	2	2	2	1	1	1	2	1	2	2	1	1
	油圧スプレッダー(大型含む)	6	1		1			1	1			1		1
	可 搬 ウ イ ン チ	8	2		1				3			2		
	油圧切断機(大型含む)	9	2		1			1	2			2		1
	マット型空気ジャッキ一式	3	1						1			1		
破 壊 ・ 切 断 器 具	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	13	2	1	1	1		1	2		1	2	1	1
	空 気 鋸	4	2						1			1		
	空 気 切 断 機	4	2									2		
	ガ ス 溶 断 器	2							1			1		
	チ ェ ー ン ソ ー	3	1						1			1		
	鉄 線 鋏 (カッター)	34	8	2	3	1	2	2	5	3	3	2	1	2
	万 能 斧	43	10	4	3	2	3	3	4	2	3	6	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1									1		
	削 岩 機	3	1						1			1		
	ハ ン マ ド リ ル	5	1						1			3		
測 定 器	放 射 線 測 定 器	10	3						1	1	1	3	1	
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	23	4	2	2	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	有 毒 ガ ス 測 定 器	3	1						1			1		
	ポ ケ ッ ト 線 量 計	32	11						3	5	3	5	5	

平成29年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅 井・ 西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊 勢・奥	木 曽 川	北 方	葉 栗
N B C 対 策	防 毒 マ ス ク	32	9		3		3			3	3	8		3
	化 学 防 護 服	15	10									5		
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	5	5											
	放 射 線 保 護 服	6	3									3		
	除 染 シ ャ ワ ー	1	1											
大 規 模 災 害	エ ア ー テ ン ト	4	2						1			1		
	画 像 探 索 機	2	1									1		
	熱 画 像 直 視 装 置	2	1						1					
水 難 器 具	潜 水 器 具 一 式	10										10		
	救 命 胴 衣	305	60	16	16	24	16	24	45	16	16	44	12	16
	水 中 投 光 器	10										10		
	救 命 浮 環	41	7	3	3	2	2	2	7	3	3	6	1	2
	浮 標	5										5		
	救 命 ボ ー ト	36	6	2	2	3	2	3	5	2	2	5	2	2
	船 外 機	7	2						2			3		
呼 吸 保 護 器 具	空 気 呼 吸 器	113	22	8	8	13	4	4	17	8	8	13	4	4
	酸 素 呼 吸 器	10	5									5		
	簡 易 呼 吸 器	5	2									3		
隊 員 保 護 器 具	防 塵 マ ス ク	114	19	10	10	5	5	5	15	10	10	15	5	5
	防 塵 メ ガ ネ	77	13	8	3	5	4	6	3	10	9	9	4	3
	耐 電 手 袋	20	7		1			1	4			6		1
	耐 電 衣	4	2									2		
	耐 電 ズ ボ ン	4	2									2		
	耐 電 長 靴	10	4						3			3		
	携 帯 警 報 器	92	16	8	8	4	4	4	15	8	8	9	4	4
	耐 熱 服	8					5					3		
そ の 他	投 光 器 一 式	26	5	2	1	4	1	1	3	2	2	3	1	1
	携 帯 投 光 器	115	25	10	7	6	8	4	22	4	8	14	2	5
	強力携帯型HIDサーチライト	24	5	2	2	1	1	1	4	2	2	2	1	1
	携 帯 ・ 可 搬 無 線 機	70	15	4	4	5	3	3	14	4	4	9	2	3
	特定小電力トランシーバー	170	45	11	11	7	7	7	28	11	11	21	4	7
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	30	5	3	2	1	2	2	4	2	2	4	1	2
	加 圧 排 煙 機	2	1									1		

消防水利の現況

平成29年4月1日現在

区 分	合 計	公 設					私 設					そ の 他			
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽 40 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上	小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽 40 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上	小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
合 計	5,129	4,995	4,017	603	354	21	49		4	33	12	85	80	2	3
	3,632	3,587	2,997	215	354	21	45			33	12				
宮 西	151	146	132	5	6	3	1			1		4	4		
	120	119	110		6	3	1			1					
貴 船	133	131	128	1	1	1	1			1		1	1		
	117	116	114		1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11	7	2	2			2		3	3		
	173	171	155	7	7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1	4	3						1	1		
	94	94	87		4	3									
向 山	103	100	90	7	3							3	3		
	80	80	72	5	3										
富 士	153	150	139	6	4	1	1			1		2	2		
	136	135	128	2	4	1	1			1					
葉 栗	282	274	219	36	19		3			1	2	5	5		
	221	218	175	24	19		3			1	2				
西 成	490	479	376	54	48	1	1			1		10	10		
	387	386	299	38	48	1	1			1					
丹 陽 町	378	371	336	26	9		2			2		5	4	1	
	263	261	239	13	9		2			2					
浅 井 町	268	263	198	37	27	1	1			1		4	4		
	210	209	159	22	27	1	1			1					
北 方 町	149	147	110	8	29							2	2		
	119	119	90		29										
大 和 町	457	442	352	51	37	2	8		1	6	1	7	7		
	328	321	260	22	37	2	7			6	1				
今伊勢町	193	182	150	20	12		7			4	3	4	3	1	
	135	128	105	11	12		7			4	3				
奥 町	140	132	108	7	16	1	3			3		5	2		3
	65	62	45		16	1	3			3					
萩 原 町	340	334	263	55	15	1	2		1		1	4	4		
	232	231	197	18	15	1	1				1				
千 秋 町	305	295	239	31	25		3		2	1		7	7		
	233	232	188	19	25		1			1					
起	60	58	42	13	2	1	1				1	1	1		
	34	33	30		2	1	1				1				
小信中島	130	128	91	34	2	1						2	2		
	56	56	53		2	1									
三 条	183	179	127	45	4	3	2				2	2	2		
	96	94	85	2	4	3	2				2				
大 徳	127	124	95	26	3		1				1	2	2		
	46	45	42		3		1				1				
朝 日	326	322	233	84	5							4	4		
	116	116	95	16	5										
開 明	118	114	93	19	2		1			1		3	3		
	77	76	66	8	2		1			1					
木曾川町	353	340	240	26	74		9			8	1	4	4		
	294	285	203	8	74		9			8	1				

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

平成29年4月1日現在

応援協定等	
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県防災ヘリコプター支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター緊急運航要領
11	ドクターヘリ運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約

緊急消防援助隊の概要

・緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等を、より効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部に協力を得て平成7年6月に創設されたものであり、一宮市消防本部は、消火部隊4隊、救助部隊1隊、救急部隊2隊、後方支援部隊1隊が登録されています。

緊急消防援助隊の派遣について

【平成16年 福井豪雨】

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県隊として福井県に派遣隊数1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18～7/19	消火部隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

【平成23年 東日本大震災】

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県隊として宮城県に派遣隊数29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12～3/15	消火部隊 救助部隊 後方支援部隊	12名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第3次隊	3/13～3/16	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第5次隊	3/17～3/22	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第6次隊	3/20～3/25	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第7次隊	3/23～3/28	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第8次隊	3/26～3/30	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第9次隊	3/29～4/3	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第10次隊	4/1～4/6	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第11次隊	4/4～4/9	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第12次隊	4/7～4/12	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第13次隊	4/10～4/15	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第14次隊	4/13～4/18	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第15次隊	4/16～4/21	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第16次隊	4/19～4/24	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成26年 御嶽山噴火災害】

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、平成26年10月4日から17日までの間に、緊急消防援助隊愛知県隊として長野県王滝村に派遣隊数3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助部隊	5名	活動拠点にて捜索についての情報収集 御岳剣ヶ峰山荘売店付近の捜索
第20次隊	10/11～10/12	救助部隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の捜索
第24次隊	10/16～10/17	救助部隊	5名	派遣期間中に捜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

＜御嶽山噴火災害に伴う救助活動写真＞



おんたけ2240スキー場に集結した愛知県隊



活動拠点「ロッジ三笠」



ヘリコプターによる移動



登山による移動



頂上山荘周辺の捜索



頂上山荘周辺の捜索



噴煙が上がる中、捜索する隊員

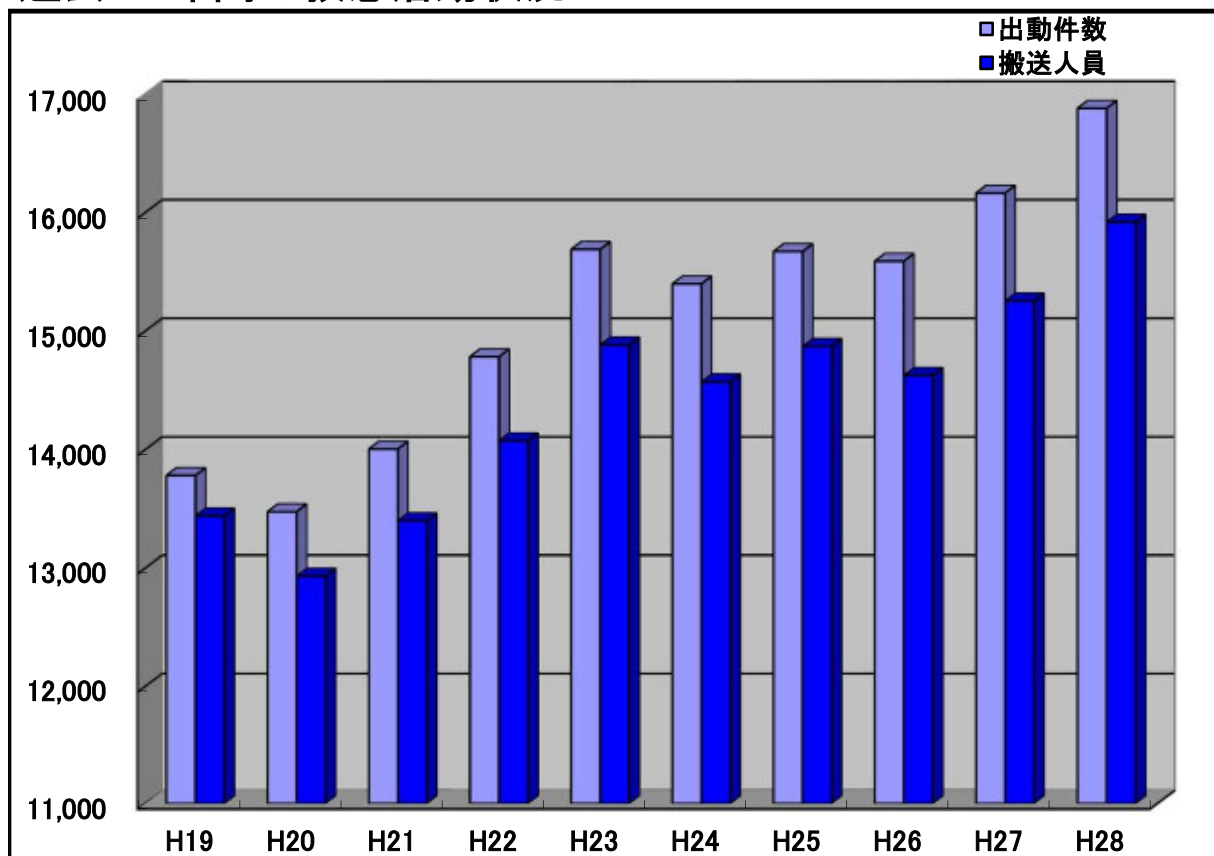


頂上の斜面で、捜索する隊員

救 急

救 助

過去10年間の救急活動状況



(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員												
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H19	13,784	31		5	1,948	138	86	1,613	88	160	8,733	982
	13,444	17		1	2,278	138	89	1,567	76	118	8,379	781
H20	13,478	100	6	5	1,792	146	96	1,529	85	159	8,427	1,133
	12,935	12	1	1	2,012	146	104	1,490	79	119	8,071	900
H21	14,007	101		4	1,707	129	80	1,622	86	181	8,912	1,185
	13,403	24		1	1,891	128	83	1,589	80	149	8,547	911
H22	14,786	88		12	1,894	146	104	1,751	72	171	9,430	1,118
	14,078	14		1	2,011	146	106	1,698	62	132	9,061	847
H23	15,692	94	2	5	1,846	168	123	1,829	73	169	10,252	1,131
	14,887	15			1,955	167	128	1,773	67	126	9,781	875
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066
	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089
	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810
H27	16,167	50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	1,224
	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951
H28	16,882	60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,294
	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031

曜日・月別救急出動件数

平成28年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
曜 日 別	月	12		2	240	23	5	327	7	24	1,690	193		19	17	2,559
	火	6		1	223	25	14	291	7	21	1,560	181		16	25	2,370
	水	10		2	242	24	7	285	7	25	1,502	155		15	29	2,303
	木	7			244	22	15	319	5	23	1,501	144		13	21	2,314
	金	8			249	23	14	312	6	14	1,626	202		20	24	2,498
	土	11		1	239	17	24	351	8	19	1,632	110	1	8	26	2,447
	日	6			217	6	49	326	16	16	1,680	45		8	22	2,391
合 計		60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,030	1	99	164	16,882
月 別	1月	3			122	9	7	216	5	15	1,021	83		8	8	1,497
	2月	3			120	12	8	170	1	14	973	107		8	11	1,427
	3月	6			142	9	10	192	6	12	987	76		9	15	1,464
	4月	3			126	13	9	189	7	15	866	72		7	15	1,322
	5月	7		1	139	9	17	171	2	10	820	74		9	14	1,273
	6月	4			140	11	7	181	1	15	816	88		9	19	1,291
	7月	4			129	18	20	152	2	10	967	83	1	8	19	1,413
	8月	6		3	160	18	8	178	8	13	1,016	91		11	11	1,523
	9月	5		2	121	9	14	164	5	13	854	85		7	14	1,293
	10月	7			158	14	15	197	7	11	859	98		8	11	1,385
	11月	3			130	7	5	174	9	5	936	92		10	13	1,384
	12月	9			167	11	8	227	3	9	1,076	81		5	14	1,610

曜日・月別救急搬送人員

平成28年中

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
曜 日 別	月	1			246	23	5	313	7	21	1,612	194	2,422
	火			1	226	24	14	277	4	17	1,482	181	2,226
	水	3			249	24	7	274	4	14	1,423	154	2,152
	木	2			253	20	15	305	4	17	1,401	145	2,162
	金	1			252	23	15	304	6	11	1,544	202	2,358
	土	6			257	17	24	343	7	13	1,551	110	2,328
	日	3			249	6	51	316	14	13	1,578	45	2,275
合 計		16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031	15,923
月 別	1月	2			134	9	7	207	4	11	953	83	1,410
	2月	1			124	12	8	162	1	10	918	106	1,342
	3月	4			143	9	12	182	6	7	929	76	1,368
	4月	2			129	12	9	186	5	11	813	72	1,239
	5月	2		1	148	9	17	166	1	8	777	77	1,206
	6月	1			142	10	7	175	1	11	773	87	1,207
	7月				133	18	20	144	2	7	919	83	1,326
	8月	1			167	17	8	170	5	12	973	92	1,445
	9月	1			128	9	14	164	4	12	815	84	1,231
	10月	1			167	14	15	191	7	9	812	98	1,314
	11月				138	7	5	167	8	3	883	92	1,303
	12月	1			179	11	9	218	2	5	1,026	81	1,532

地区別救急出動件数

平成28年中

地区 事故種別		合 計	宮 西	貴 船	神 山	大 志	向 山	富 士	葉 栗	西 成	丹 陽 町	浅 井 町	北 方 町	大 和 町	今 伊 勢 町	奥 町	萩 原 町	千 秋 町	尾 西	木 曽 川 町	管 外
合 計		16,882	802	502	826	325	366	568	734	1,426	1,025	1,004	364	1,737	1,097	543	820	880	2,401	1,370	92
火 災		60	2	1	2	4	4	3	2	4	2	5	1	5	3	1	3	2	10	3	3
自 然 災 害																					
水 難		6							2			2		1					1		
交 通 事 故		1,654	75	55	71	33	53	64	78	137	146	37	35	210	75	38	57	98	256	127	9
労 働 災 害		140	4	5	7		2	7	6	10	16	1	3	13	10	2	7	10	28	9	
運 動 競 技		128	8	4	4		3	3	21	6	3	4	1	7	8	2	5	18	16	15	
一 般 負 傷		2,211	109	83	139	53	45	91	83	175	134	154	51	222	112	64	122	102	282	189	1
加 害		56	4	1	2	1	1	5	2	9	5	1		5	6	1	1	3	5	4	
自 損 行 為		142	8	3	14	1	4	1	6	12	5	7	3	18	19	5	2	5	20	8	1
急 病		11,191	369	301	553	215	223	375	523	981	689	743	269	1,181	795	373	595	488	1,606	895	17
その他	転 院 搬 送	1,030	120	43	14	13	26	13	6	81	13	40		52	63	52	22	148	158	105	61
	医 師 搬 送	1				1															
	資 機 材 輸 送	99	99																		
	そ の 他	164	4	6	20	4	5	6	5	11	12	10	1	23	6	5	6	6	19	15	

地区別救急搬送人員

平成28年中

地区 事故種別		合 計	宮 西	貴 船	神 山	大 志	向 山	富 士	葉 栗	西 成	丹 陽 町	浅 井 町	北 方 町	大 和 町	今 伊 勢 町	奥 町	萩 原 町	千 秋 町	尾 西	木 曽 川 町	管 外
合 計		15,923	663	484	755	294	346	538	698	1,366	986	920	351	1,619	1,061	518	790	846	2,315	1,288	85
火 災		16					1	1	1	1	2		1	1	1		1		5	1	
自 然 災 害																					
水 難		1												1							
交 通 事 故		1,732	74	60	69	31	54	71	81	148	162	35	38	216	82	39	66	94	280	125	7
労 働 災 害		137	4	5	6		2	7	5	10	16	1	3	13	10	2	7	10	27	9	
運 動 競 技		131	8	4	5		3	3	21	6	3	4	1	7	8	2	5	20	16	15	
一 般 負 傷		2,132	100	80	131	50	43	88	79	169	127	151	50	211	110	63	119	99	275	186	1
加 害		46	4	1	1		1	2	1	9	4	1		5	6		1	3	5	2	
自 損 行 為		106	3	2	12	1	4	1	3	9	3	5	3	12	15	3	2	5	16	7	
急 病		10,591	350	289	517	199	212	352	500	933	656	683	255	1,101	764	357	567	468	1,534	838	16
そ の 他		1,031	120	43	14	13	26	13	7	81	13	40		52	65	52	22	147	157	105	61

現場到着所要時間別救急出動件数

平成28年中

現場到着 所要時間 事故種別	3 分 未 満	3 分 以 上 5 分 未 満	5 分 以 上 10 分 未 満	10 分 以 上 20 分 未 満	20 分 以 上	合 計	現場到着 最短所要時間 (分)	現場到着 最長所要時間 (分)	現場到着 平均所要時間 (分)
合 計	304	2,885	12,369	1,313	11	16,882	0	35	6.8
急 病	140	1,794	8,383	870	4	11,191	0	24	6.9
交通 事故	13	273	1,188	175	5	1,654	0	35	7.2
一 般 負 傷	24	410	1,616	161		2,211	0	19	6.8
そ の 他	127	408	1,182	107	2	1,826	0	21	6.1

収容所要時間別救急搬送人員

平成28年中

収容所要時間 事故種別	10分未満		10分以上20分未満		20分以上30分未満		30分以上60分未満		60分以上120分未満		120分以上		合計	収容最短所要時間 (分)	収容最長所要時間 (分)	収容平均所要時間 (分)
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外				
合計	6		1,914	15	8,843	462	5,075	711	84	31	1		15,923	6	120	27.3
急病	5		1,267	9	5,972	302	3,298	401	48	15	1		10,591	8	120	27.1
交通事故			180	2	837	35	703	99	12				1,732	10	98	28.9
一般負傷	1		258	1	1,174	68	698	77	1				2,132	6	60	27.2
その他			209	3	860	57	376	134	23	16			1,468	10	90	27.1

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

平成28年中

事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	合 計	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031
	死 亡	260				7			20		22	211	
	重 症	1,190	1			46	11	3	68	1	13	850	197
	中等症	6,135	3			345	47	37	673	5	34	4,279	712
	軽 症	8,338	12		1	1,334	79	91	1,371	40	37	5,251	122
	その他												
新 生 児	小 計	120							1			4	115
	死 亡												
	重 症	8											8
	中等症	105										2	103
	軽 症	7							1			2	4
	その他												
乳 幼 児	小 計	813				72			174			523	44
	死 亡	3										3	
	重 症	19							3			5	11
	中等症	236				4			13			191	28
	軽 症	555				68			158			324	5
	その他												
少 年	小 計	707	1			201		91	88		2	306	18
	死 亡	1									1		
	重 症	13				6		2				2	3
	中等症	187				36		26	17			96	12
	軽 症	506	1			159		63	71		1	208	3
	その他												
成 人	小 計	4,924	9		1	992	108	40	371	38	81	3,051	233
	死 亡	37				2			1		14	20	
	重 症	253				24	8	1	7	1	10	156	46
	中等症	1,444	1			190	32	11	86	5	29	942	148
	軽 症	3,190	8		1	776	68	28	277	32	28	1,933	39
	その他												
高 齢 者	小 計	9,359	6			467	29		1,498	8	23	6,707	621
	死 亡	219				5			19		7	188	
	重 症	897	1			16	3		58		3	687	129
	中等症	4,163	2			115	15		557		5	3,048	421
	軽 症	4,080	3			331	11		864	8	8	2,784	71
	その他												

新 生 児 : 生後28日未満の者
 乳 幼 児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少 年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成 人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高 齢 者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区 分	平 成 24 年	平 成 25 年	平 成 26 年	平 成 27 年	平 成 28 年
一 宮 市 人 口	386,390	386,447	386,429	386,410	386,094
救 急 出 動 件 数	15,400	15,674	15,592	16,167	16,882
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	399	406	403	418	437
高 規 格 救 急 車 運 用 台 数	10	11	11	11	11
救 急 救 命 士 数	80	82	82	84	85
気 管 挿 管 救 命 士 数	12	13	14	15	16
薬 剤 投 与 救 命 士 数	52	57	59	64	66
救 急 搬 送 人 員 (A)	14,574	14,874	14,629	15,257	15,923
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	368	367	392	376	349
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が 目撃された心肺停止傷病者搬送人員 〕 (C)	(29)	(33)	(25)	(28)	(28)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	238	233	264	234	235
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	3	3	3	3	2
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	65	64	67	62	67
〔 救急隊により心肺機能停止の時点が目撃された 心肺停止傷病者を除くバイスタンダーCPR実施率% 〕 (D / (B - C))	(70.2)	(69.8)	(71.9)	(67.2)	(73.2)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

区 分		応 急 処 置		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保				
		対 象 人 数	件 数 合 計						計	※1	※2	※3	※4
合 計	合 計	15,865	74,585	261	2,884	136	342	3,055	661	20	37	121	4
	死 亡	260	1,373	1	23	15	257	256	258	9	22	93	1
	重 症	1,184	6,398	9	105	78	79	695	223	8	14	28	3
	中等症	6,109	29,152	51	959	42	6	1,572	154	3	1		
	軽 症	8,312	37,662	200	1,797	1		532	26				
	その他												
急 病	小 計	10,583	49,973	85	379	115	276	2,407	558	14	20	106	1
	死 亡	211	1,108	1	2	14	208	208	209	6	13	80	
	重 症	850	4,731	2	11	66	64	534	190	6	6	26	1
	中等症	4,274	20,759	13	143	34	4	1,244	133	2	1		
	軽 症	5,248	23,375	69	223	1		421	26				
	その他												
交 通 事 故	小 計	1,719	8,465	26	1,158	2	8	117	12	1		1	
	死 亡	7	38		6		7	6	7			1	
	重 症	46	307	4	46	1		27	4	1			
	中等症	345	1,880	9	281	1	1	50	1				
	軽 症	1,321	6,240	13	825			34					
	その他												
一 般 負 傷	小 計	2,120	10,105	118	1,138	8	33	145	46	2	17	9	3
	死 亡	20	105		1	1	20	20	20	1	9	7	1
	重 症	67	352	2	30	3	13	29	19	1	8	2	2
	中等症	671	3,277	21	446	4		51	7				
	軽 症	1,362	6,371	95	661			45					
	その他												
そ の 他	小 計	1,443	6,042	32	209	11	25	386	45	3		5	
	死 亡	22	122		14		22	22	22	2		5	
	重 症	221	1,008	1	18	8	2	105	10				
	中等症	819	3,236	8	89	3	1	227	13	1			
	軽 症	381	1,676	23	88			32					
	その他												

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリングアルマスク等を使用しての気道確保

※4 気管挿管による気道確保

平成28年中

区 分		保 温	被 覆	在 宅 療 法	除 細 動	静 脈 路 確 保	そ の 他	血 圧 測 定	心 音・呼 吸 音	血 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	血 糖 測 定	エ ピ ペ ン 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	薬 剤 投 与
合 計	合 計	119	1,013	161	23	142	15,072	15,145	6,359	15,491	13,516	156	1	18	30
	死 亡		1		6	38	195	19	13	20	252				19
	重 症	25	21	17	16	48	1,084	1,120	589	1,131	1,117	28		2	11
	中等症	45	225	107	1	39	5,805	5,921	2,631	6,091	5,407	85	1	10	
	軽 症	49	766	37		17	7,988	8,085	3,126	8,249	6,740	43		6	
	その他														
急 病	小 計	85	66	147	21	134	10,341	10,179	4,838	10,314	9,828	155		18	27
	死 亡				5	35	158	19	10	18	204				17
	重 症	22	1	17	15	44	802	807	473	808	836	27		2	10
	中等症	35	26	100	1	39	4,209	4,209	2,157	4,263	4,054	85		10	
	軽 症	28	39	30		16	5,172	5,144	2,198	5,225	4,734	43		6	
	その他														
交 通 事 故	小 計	3	261			1	1,556	1,682	808	1,703	1,128				
	死 亡						4			1	7				
	重 症	1	8			1	44	46	38	46	41				
	中等症		62				327	344	185	343	276				
	軽 症	2	191				1,181	1,292	585	1,313	804				
	その他														
一 般 負 傷	小 計	17	570	11		6	1,984	1,998	438	2,058	1,530	1	1		3
	死 亡					3	16		2	1	19				2
	重 症	1	5			2	56	56	22	57	55	1			1
	中等症	4	107	4			631	665	140	670	526		1		
	軽 症	12	458	7		1	1,281	1,277	274	1,330	930				
	その他														
そ の 他	小 計	14	116	3	2	1	1,191	1,286	275	1,416	1,030				
	死 亡		1		1		17		1		22				
	重 症	1	7		1	1	182	211	56	220	185				
	中等症	6	30	3			638	703	149	815	551				
	軽 症	7	78				354	372	69	381	272				
	その他														

高速道路の救急活動状況

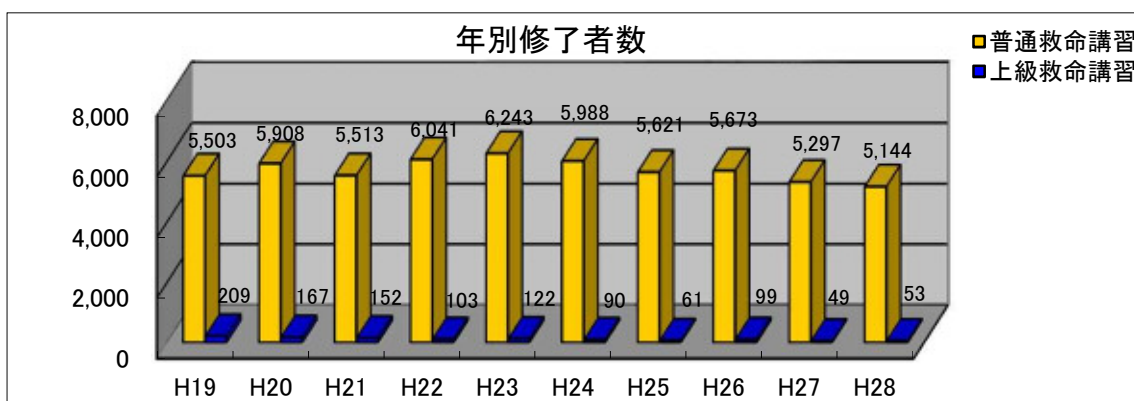
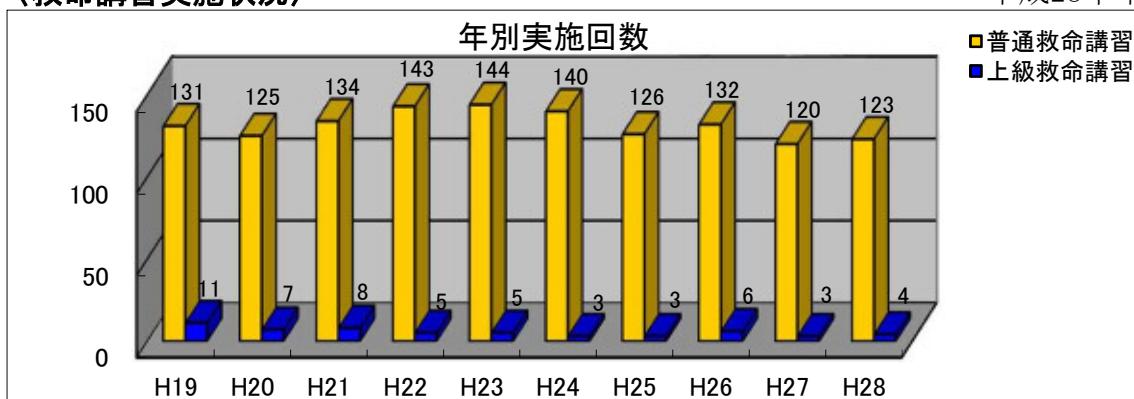
平成28年中

区 分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出 動 件 数	合 計	78	2	3	3	2	12	8	6	16	3	8	5	10
	一般負傷	1								1				
	火 災	4			1		1	1	1					
	急 病	20	1		1	2	4		3	3			2	4
	交通事故	53	1	3	1		7	7	2	12	3	8	3	6
	市 内	64	2	3	3	1	9	6	4	15	3	5	4	9
	市 外	2										1	1	
	県 外	12				1	3	2	2	1		2		1
	不 搬 送	13		1	1	1	3	1	1	3		1		1
搬 送 人 員	合 計	88	2	3	2	1	11	11	5	21	4	7	10	11
	一般負傷	1								1				
	急 病	16	1		1	1	3		3	2			2	3
	交通事故	71	1	3	1		8	11	2	18	4	7	8	8
	性 男	52	1	2	1	1	7	7	3	10	3	6	5	6
	性 女	36	1	1	1		4	4	2	11	1	1	5	5
	死 亡													
	重 症	3					1	1				1		
	中 等 症	21	1	2	1	1	2	1	2	2	3	2	2	2
	軽 症	64	1	1	1		8	9	3	19	1	4	8	9
	そ の 他													

応急手当等の普及活動状況

〈救命講習実施状況〉

平成28年中



〈一般救急講習実施状況〉

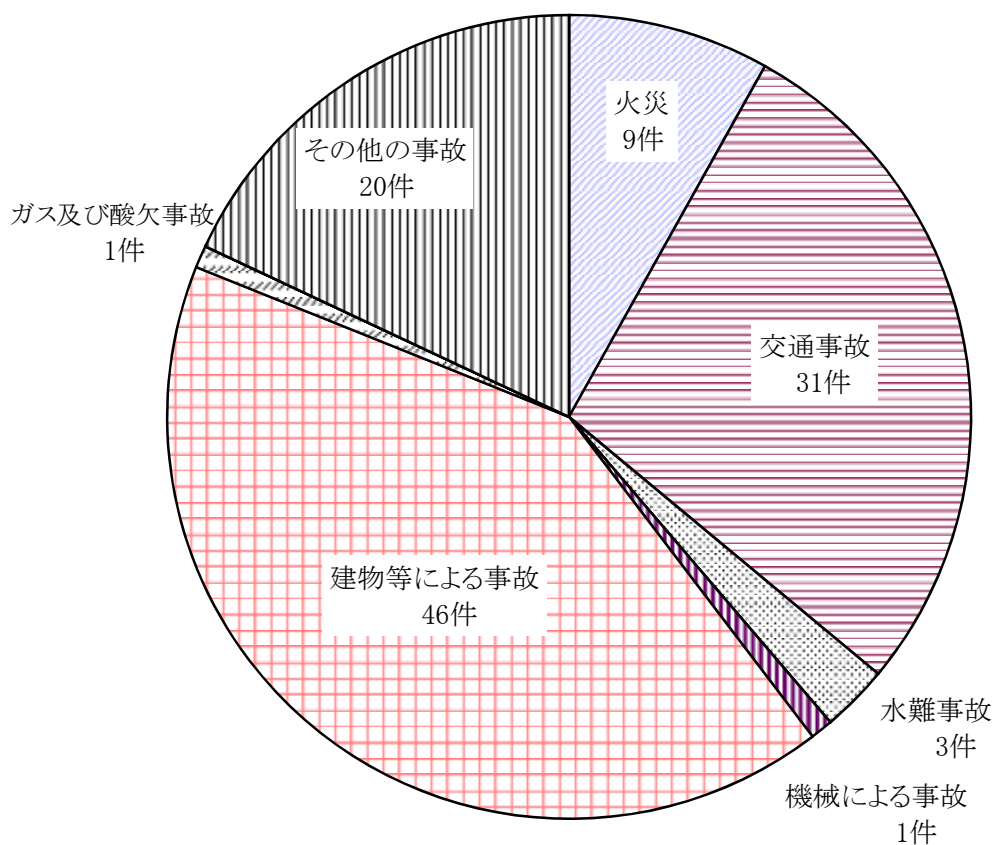
区	分	合 計	学 校	保 育 園	防 災 会	各種団体	事 業 所	そ の 他
平成19年	実施回数	155	71	5	20	29	25	5
	参加人員	6,188	3,275	108	782	1,229	663	131
平成20年	実施回数	186	75	4	6	53	33	15
	参加人員	7,729	3,244	46	1,428	1,953	725	333
平成21年	実施回数	225	62	6	14	92	37	14
	参加人員	8,095	2,611	112	544	3,641	940	247
平成22年	実施回数	220	78	5	20	70	37	10
	参加人員	9,987	3,762	86	2,606	2,318	1,000	215
平成23年	実施回数	210	80	13	27	54	34	2
	参加人員	8,609	3,191	283	1,705	1,542	878	1,010
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
平成26年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26
平成27年	実施回数	267	97	12	60	49	40	9
	参加人員	11,699	4,207	318	3,664	2,172	1,032	306
平成28年	実施回数	275	102	8	59	66	37	3
	参加人員	13,867	4,946	178	5,949	2,089	643	62

救助活動状況

平成28年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	活動人員	救助人員
		台 数	人 員			
合 計	210	1,108	4,054	111	1,127	113
火 災	34	373	1,356	9	45	3
交 通 事 故	60	260	944	31	348	37
水 難 事 故	3	16	65	3	34	3
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故						
機 械 による 事 故	1	4	13	1	3	1
建物等による事故	60	241	889	46	465	48
ガス及び酸欠事故	1	5	19	1	16	1
破 裂 事 故						
そ の 他 の 事 故	51	209	768	20	216	20

活動件数の内訳



月別救助出動状況

平成28年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	210	16	18	18	20	18	17	9	16	21	22	17	18
	出動人員	4,054	303	320	341	339	392	326	161	342	410	434	294	392
火 災	出動件数	34	2	2	3	1	4	2	1	4	4	5	1	5
	出動人員	1,356	89	83	114	47	178	90	35	142	143	183	53	199
交 通 事 故	出動件数	60	6	6	1	7	5	7	5	4	4	4	6	5
	出動人員	944	93	89	15	108	79	116	81	61	69	61	91	81
水 難 事 故	出動件数	3								2	1			
	出動人員	65								50	15			
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数													
	出動人員													
機 械 に よ る 事 故	出動件数	1												1
	出動人員	13												13
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	60	6	6	7	9	5	5	3	3	5	4	5	2
	出動人員	889	88	88	98	137	75	75	45	44	73	59	76	31
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	1			1									
	出動人員	19			19									
破 裂 事 故	出動件数													
	出動人員													
そ の 他 の 事 故	出動件数	51	2	4	6	3	4	3		3	7	9	5	5
	出動人員	768	33	60	95	47	60	45		45	110	131	74	68

過去5年間の救助活動状況

区 分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
出 動 件 数	163	193	196	190	210
活 動 件 数	67	88	93	97	111
活 動 人 員	732	967	950	997	1,127
救 助 人 員	67	86	77	86	113

救助訓練等実施状況

陸上

平成28年度中

月	日	訓練名	場所
6月	7・8・9・10日	解体予定建物を使用した救助訓練	尾西グリーンプラザ
11月	10・11日	豊田市救助隊との救助合同訓練	豊田市消防本部 中消防署
	27日	車両構造講習会及び訓練会	東海旅客鉄道株式会社 名古屋工場
12月	5日	第19回全国消防救助シンポジウム	響きの森文京公会堂(東京都文京区)
2月	15・16日	昇降機を使用した救助研修	一宮市消防本部・一宮市立北部中学校
	20日	車両構造講習会(新幹線)	東海旅客鉄道株式会社 名古屋車両所
	21日	震災対応救助技術訓練	名古屋市消防学校 防災用訓練場
3月	7・8日	電柱事故救助訓練	中部電力株式会社 殿町訓練場

水難

月	日	訓練名	場所
4月	11・18日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	15・16・18・23・26日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(北方町北方地内・富田字砂原地内)
	25・28日	潜水ランク認定訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
5月	1日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
	9・16日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	11・12日	潜水ランク認定訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	16・17日	潜水ランク認定訓練	木曽川左岸(富田字砂原地内)
	23日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	木曽川左岸(江南市大字草井地内)
	25日	岐阜県防災航空隊及び3消防本部合同水難救助訓練	木曽川右岸(羽島市正木町大浦地内)
7月	3・4日	水難救助訓練(水面救助訓練)	木曽川左岸(北方町北方地内)
	6・7日	潜水各種検索訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
8月	5・8・10・12・19・25日	救命索発射銃取り扱い訓練	木曽川河川敷(北方町北方地内)
9月	1・2日	警防隊の水面救助訓練及びCランク強化隊員の潜水訓練	一宮市尾西プール
	27日	三市消防本部(稲沢市・羽島市・一宮市)合同水難救助訓練	木曽川左岸(稲沢市祖父江町拾町野地先)
10月	3日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
11月	2・3日	サーフェイストライスーツ水面訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
	21日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	29・30日	ドライスーツ潜水訓練及びCランク強化隊員潜水訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
12月	1・2日	ドライスーツ潜水訓練及びCランク強化隊員潜水訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	12日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
1月	16日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
2月	6日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	27・28日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
3月	13日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール

消 防 五 則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制 定 主 旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2017 年版 消防年報（第 67 号）

平成 29 年 7 月発行

編集・発行

一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-0119

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部
《昭和 23 年創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.